【熊本県庁舎等建築物個別施設計画】

令和３年３月

熊　本　県

目　　次

１　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.2

２　計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.2
(1) 計画策定の目的
(2) 対象施設
(3) 計画期間
(4) 施設アセスメント調査の実施

３　施設の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
(1) 現状
(2) 課題

４　優先順位の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.6
(1) 施設重要度（施設間での優先順位）
(2) 部位重要度（施設内での優先順位）
(3) 修繕等の緊急性や劣化度

５　具体的な取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.7
(1) 施設の長寿命化
(2) 予防保全の取組
(3) 財政負担の平準化
(4) メンテナンス費用の削減
(5) 効率的な利活用
(6) ＰＰＰ／ＰＦＩの導入
(7) ユニバーサルデザイン化の推進

６　施設ごとの具体的内容（個別施設計画シート）・・・・　・・・・・・・・P.9
(1) 個別施設計画シートの作成

７　計画の着実な推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.13
(1) 施設の実態把握
(2) 推進体制等

【参考資料】
個別施設計画シート一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.14

１．はじめに

本県では、県有財産の効果的な利活用の推進を図るため、「経営戦略的視点に立った県有財産の総合的な管理に関する基本方針～ファシリティマネジメントの推進に向けて～」を平成２５年３月に策定しました。

さらに、国からの要請や状況の変化に対応するため、平成２９年３月に上記方針の見直しを行い、「熊本県公共施設等総合管理計画」として位置づけ、県有財産の総量最適化や効率的活用、長寿命化に取り組んでいます。

２．計画の概要

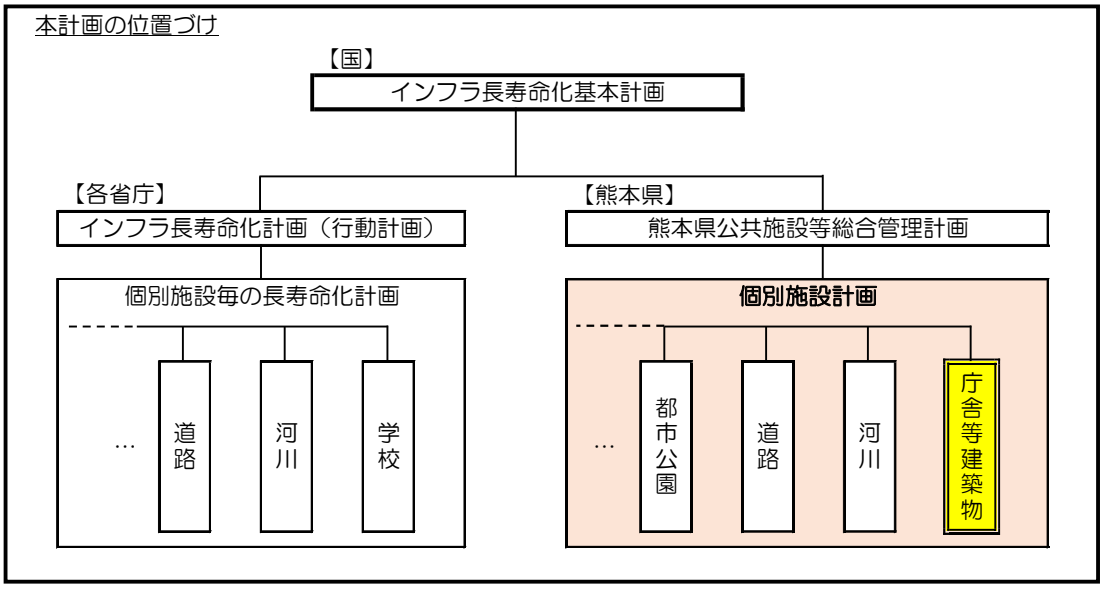
（１）計画策定の目的

「熊本県庁舎等建築物個別施設計画」（以下「本計画」という。）は、「熊本県公共施設等総合管理計画」に基づき、庁舎等建築物を対象として策定するものであり、国の「個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）」に位置付けられるものです。

本計画は、個々の建物の築年数や構造等に着目し、利活用の各区分（継続利用（60 年・90 年）、建替、転用、廃止）への適合性を判定することで、目標使用年数を含む利活用の方向性を示しています。この方向性を基に、予防保全的な維持管理や計画的な修繕等を効果的に実施し、施設利用者の安全・安心を確保するとともに、施設の長寿命化の推進や適切な時期に建替等の検討を行うことを体系化することにより、費用の縮減や平準化を図ることを目的としています。

また、本計画は施設で提供される行政サービス（以下「事業」という。）の必要性について判断したものではなく、事業の継続を前提としています。今後施設を取り巻く環境や利用実態の変化等により、事業の変更が施設の管理計画に影響を与える場合には、個別施設計画に反映していきます。

【図１】本計画の位置づけ



（２）対象施設

本計画の対象となる施設は次のとおりとし、合計１０３施設（１９７棟）となります。
※参考資料の個別施設計画シート一覧のとおり

・倉庫建、雑屋建などの簡易な造りではない建築物
・延床面積が２００㎡以上の建築物
※教育庁所管の学校施設、警察関係施設、県営住宅及び職員住宅を除く。

（３）計画期間

令和３（２０２１）年度から令和１２（２０３０）年度までの１０年間とします。

なお、この計画に基づく取組の進捗を定期的に評価・分析し、その結果をその後の取組に反映させるとともに、社会経済の変化に対応するため、必要に応じ見直しを行います。

（４）施設アセスメント調査の実施

本計画の策定にあたり、施設の現状を正確に把握するため、施設アセスメント調査を実施しました。施設の利用状況や劣化の状況等を調査し、施設評価プログラムを用いて利活用適合性の判別や概算ライフサイクルコストの算出を行い、施設の「利活用の方向性」を検討する際の参考にしました。

※施設アセスメント調査とは

各施設管理者が、５つの評価（資産価値、施設ニーズ、施設健全度、可変性、施設重要度）に関する３２項目を調査し、「建替、転用、継続利用（60 年）、継続利用（90 年）、廃止」のいずれの利活用区分への適合度が高いかを判別するものです。

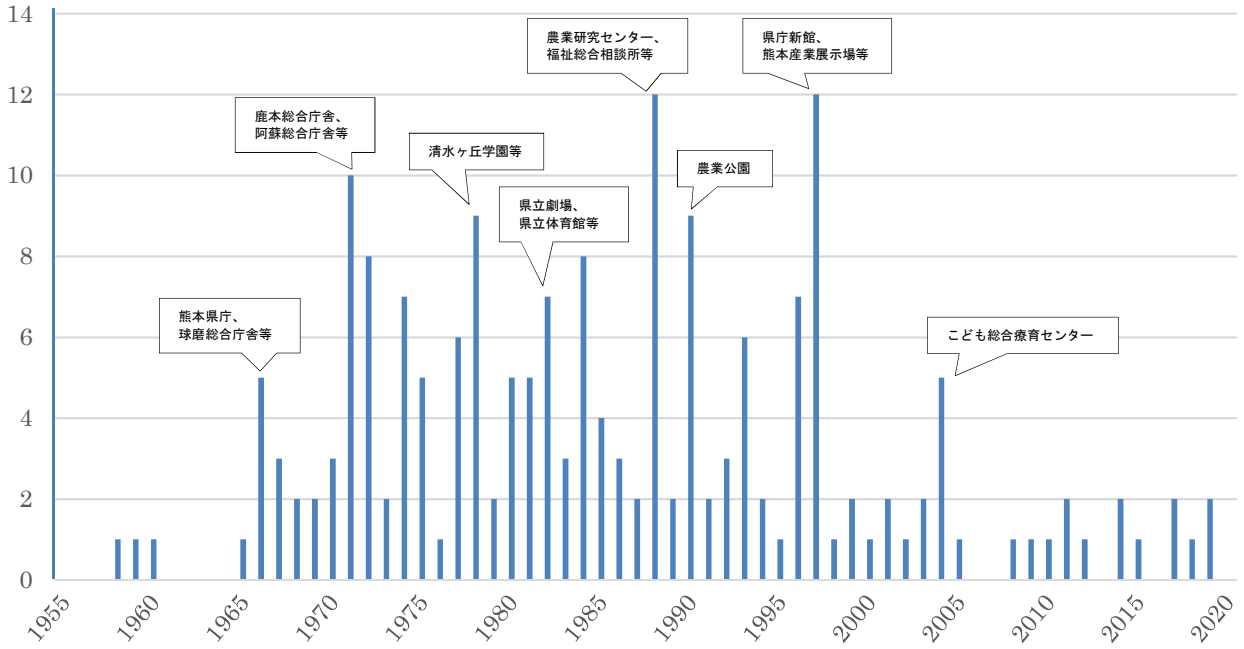
また、予算の平準化や総量適正化につなげていくために、中長期的に施設の維持管理に必要となる概算経費として、概算ライフサイクルコストの算出も行います。

３．施設の現状と課題

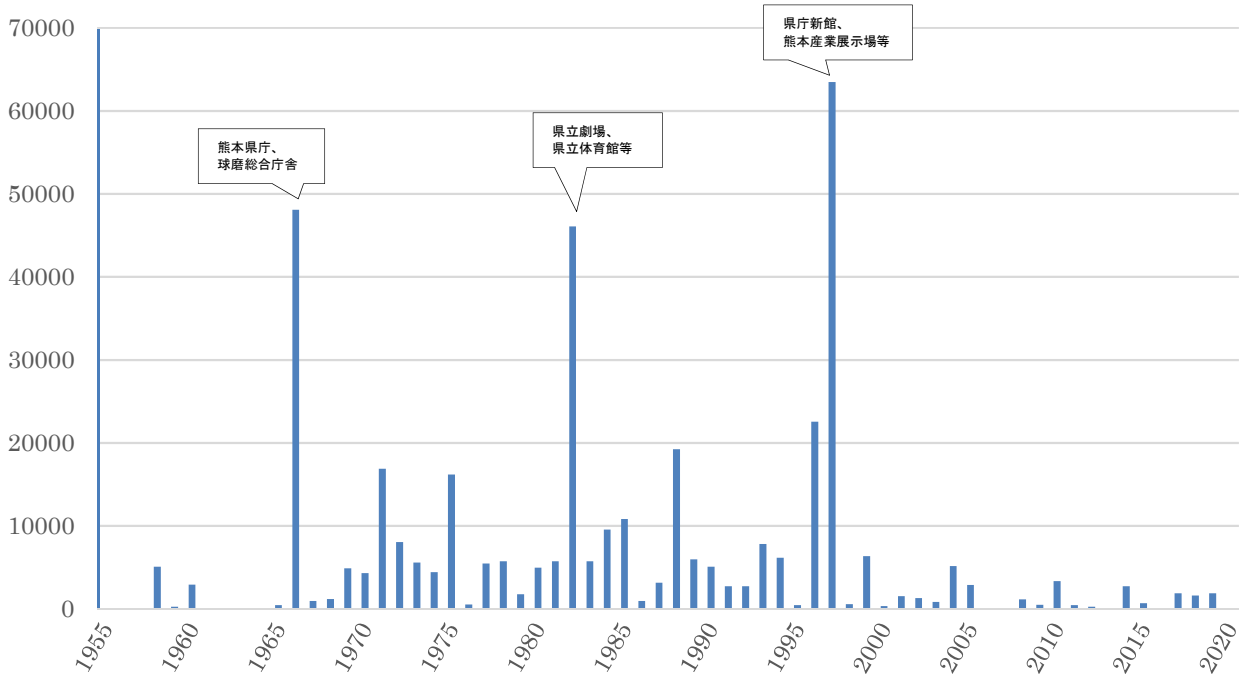
（１）現状

本計画の対象となる庁舎等建築物を年次的にみると、１９６０年代から１９８０年代に建築された建築物が多く、築３０年以上を経過したものが全体棟数の約６７．５％を占めており、老朽化の進行が顕著となっています。また、建物の延べ面積ベースでは、築３０年以上を経過したものが全体建物数の約６４．２％を占めます。

【図２】建築年のグラフ（棟数）



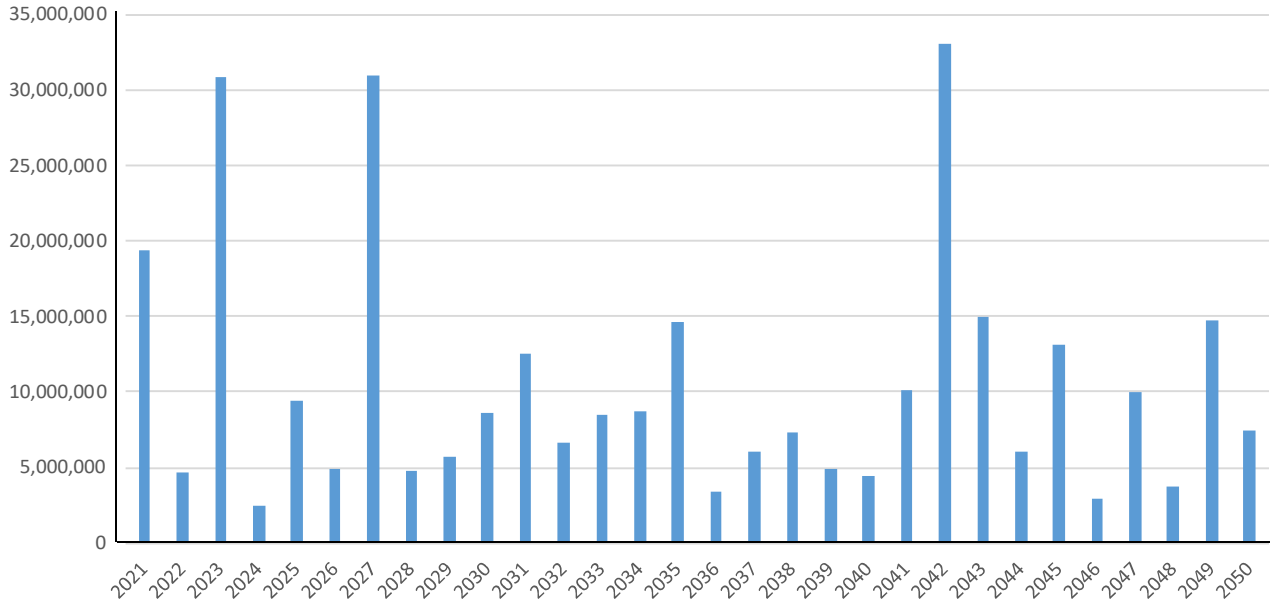
【図３】建築年のグラフ（延べ面積）　【単位：㎡】



（２）課題

（１）のとおり、多くの施設が１９６０年から１９８０年代に整備されており、今後、一斉に改修時期が到来し、多大な改修費用が必要となります。今後、目標使用年数（６０年）を基に全ての施設の建替を行った場合、今後３０年間で約３，１４９億円程度の財政負担が予想されます。厳しい財政状況の中で、必要な整備等を効率的かつ効果的に進めるとともに、財政負担を縮減し、平準化する必要があります。

【図４】今後の財政負担の予想　　【単位：千円】



４．優先順位の考え方

施設の改修、建替等の内容及び実施時期について、施設の役割や利用状況、劣化度等を整理し、優先順位の考え方として以下の点を踏まえて総合的に検討します。

また、部位・部材の機能や劣化の影響等を考慮のうえ、予防保全すべきものと事後保全でも構わないものに選別し、効率的な保全に取り組みます。

（１）施設重要度（施設間の優先順位）

次の順により重要度を定め、重要度が高いほど優先度が高くなります。

① 災害時の防災拠点となる施設

② 一般事務庁舎や多くの県民が利用する施設

③ その他

（２）部位重要度（施設内での優先順位）

次の順により重要度を定め、重要度が高いほど優先度が高くなります。

① 最重要

構造体、屋根防水、受変電設備、消火設備、防排煙区画、非常放送設備、電話設備、タンク類、避難設備、機械排煙設備

② 重要

外壁、空調、給水設備、動力盤、分電盤設備、機内電線路設備、自家発電設備、浄化槽、放送設備

③ 一般

外部建具、内部床壁天井仕上、電灯設備、換気設備、表示設備

④ その他

外部床、テレビ共同受信設備、給湯設備、衛生設備

（３）修繕等の緊急性や劣化度

次の順により劣化度を定め、劣化度が高いほど優先度が高くなります。

① 最重度

・著しい劣化による不具合が生じ、修繕による十分な機能回復が見込めず、年度内に対策又は対策のための設計が必要

・至急大規模な改修が必要

② 重度

・劣化による不具合が生じ、修繕による当面の機能回復を図っているが、早い段階（来年度）に対策が必要

・再来年度以降に大規模な改修が必要になる可能性が高い

③ 中度

・全体的に劣化しており、３年以内に対策が必要

・対策を講じることにより近々には大規模な改修は不要

④ 軽度

・軽度の劣化が各所にあるが、部分修繕で対応できる

５．具体的な取組

（１）施設の長寿命化

今後も利活用すべき施設については、「県有施設の長寿命化等に関する指針（平成２７年３月）」に沿って、目標使用年数を原則６０年と設定し、予防保全の取組による長寿命化を図ります。

また、次の要件のいずれにも該当する長期的な利用が見込まれる施設については、９０年使用を目標とした長寿命化改修（築後４０年目を基準）を検討し、更なる長寿命化及び長期利用を図ります。

《長寿命化の要件》

・鉄骨造の建物もしくは建築年が１９７２年以降の鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の建物

・延床面積が５００㎡以上の建物

その他、長寿命化要件に非該当の場合で大規模改修等の履歴を考慮する場合は６５年、保全計画を策定している場合にはその計画に基づく目標使用年数とするなど、施設の状況に応じて目標使用年数を設定しています。

（２）予防保全の取組

日常点検や定期点検の実施により、建築物の機能・性能の劣化状況を把握し、計画的に改修、更新を行うことで故障等を未然に防ぐ予防保全を推進し、建築物の機能維持向上に向けて計画的に取り組みます。

（３）財政負担の平準化

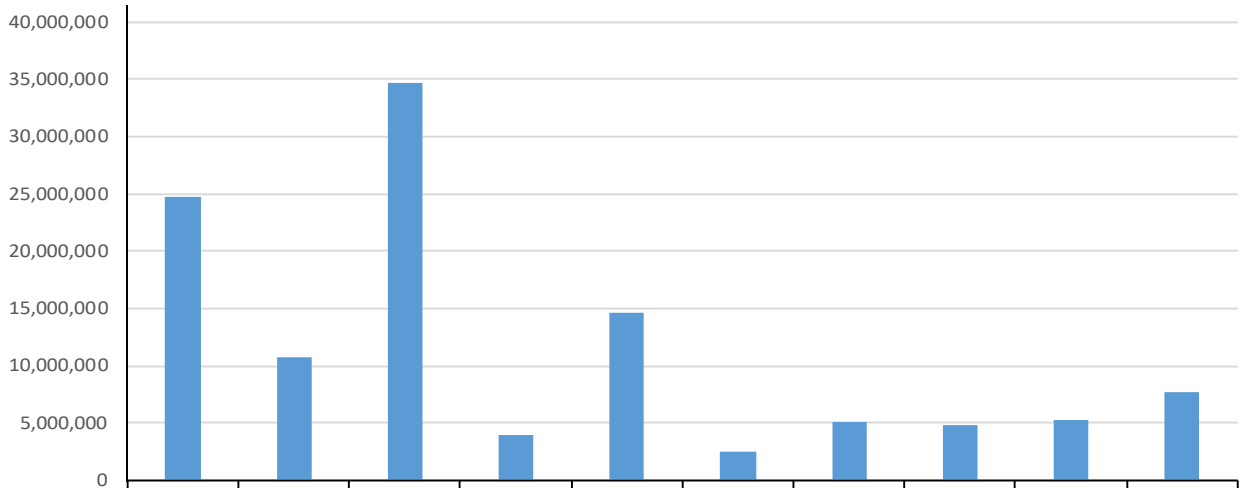
長寿命化や予防保全の取組を踏まえ、対象施設全体の計画期間内（１０年間）の概算ライフサイクルコストを算出しシミュレーションした結果、総額は約１，１４１億円となりました。

長寿命化改修の基準となる築後４０年目を超過した施設が多く、試算上初年度をはじめとして期間前半に支出が増大しており、年度間における費用の負担の差も大きくなっています。

長寿命化改修や予防保全等の実施にあたっては、施設ごとに保全計画等を策定し、緊急性や施設の重要度等を踏まえた実施時期及び「４．優先順位の考え方」に基づく優先順位等を検討したうえで、財政負担の平準化や計画的な実施に取り組みます。

【図５】計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

【単位：千円】



	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
コスト	24,716,820	10,744,516	34,658,370	3,899,135	14,565,443	2,488,272	5,148,874	4,877,062	5,226,842	7,744,577

10 年計	114,069,912 千円

（４）メンテナンス費用の削減

建築物のライフサイクルコストのうち８割は運用・保全・修繕費等のランニングコストが占めます。ライフサイクルコストの縮減のため、新築・改修・補修工事の際に耐久性のある製品・材料を検討するなど、将来的にメンテナンス費用の削減に効果的な投資を行っていく必要があります。

（５）効率的な利活用

施設の建設当初の用途と現状の利用用途が異なる施設や、利用頻度または利用スペースが極めて少ない施設（施設アセスメント調査の結果、転用や建替に適合性のあるもの）については、現状の利用に沿った用途への変更や、他施設との集約化等、効率的な利活用方法を検討します。

（６）ＰＰＰ／ＰＦＩの導入

民間の資金やノウハウ等を活用するため、必要な公共施設整備事業を実施する場合、当該事業実施の検討段階において、多様なＰＰＰ／ＰＦＩ手法の導入が適切かどうかを、自ら公共施設等の整備を行う従来型手法に優先して検討することとしている「公共施設整備事業への多様なＰＰＰ／ＰＦＩ手法導入検討要領」に基づき、ＰＰＰ／ＰＦＩの導入について積極的に検討します。

（７）ユニバーサルデザイン化の推進

施設の維持・補修・更新にあたっては、施設内の段差や狭い通路等、高齢者や障がい者等に配慮した施設整備を促進することで誰もが円滑に利用できる建築物の整備を図ります。

６．施設ごとの具体的内容（個別施設計画シート）

（１）個別施設計画シートの作成

施設アセスメント調査の結果や施設の個別の状況及び施設管理者の意見等を踏まえたうえで、施設ごとに以下の項目で構成する個別施設計画シートを作成しています。

今後、施設の利用状況の変化、施設運用に有利な起債等十分な財源が確保できた場合など適宜見直しを行います。

１．施設概要

施設の基本的な情報を記載しています。

２．建物別一覧

施設に所在する建物別の一覧を記載しています。

３．建物毎の概要等

建物毎に概要等を記載しています。

①　概要

建物の基本的な情報を記載しています。

「目標使用年数」は原則として６０年、長寿命化改修を実施済、若しくは実施又は検討する場合は９０年、長寿命化要件に非該当の場合で大規模改修等の履歴を考慮する場合は６５年、保全計画を策定している場合にはその計画に基づく目標使用年数とするなど、施設の状況に応じて目標使用年数を設定しています。

②　利活用の方向性

（※各施設において事業が継続されることを前提として記載しています。）

（Ａ）施設アセスメント調査

施設アセスメント調査により、対象施設を利活用区分別に資産価値や施設ニーズ等の指標によって評価し、いずれの利活用区分への適合度が高いかを判別しています。

【図６】利活用区分の定義

利活用区分	定　義
建替	既存の建築物を取り壊して新たな建築物を建築すること。
転用	建設当初の事業用途と現状の用途が変わっているため、現状の用途に適した形で転用や改善を行うこと。
継続利用（60年）	既存建築物を現状のまま目標使用年数（60年）まで継続的に利用すること。
継続利用（90年）	既存建築物に長寿命化改修を施し、目標使用年数（90年）まで継続的に利用すること。
廃止	建築物を取り壊して更地にすること。

【図７】施設アセスメント調査評価項目

評価項目		利活用区分				
		建替	転用	継続利用（60 年）	継続利用（90 年）	廃止
資産価値	構造（遵法性）	○	○	○	○	○
	天井（遵法性）	○	○	○	○	○
	設備（遵法性）	－	○	○	○	－
	避難（遵法性）	－	○	○	○	－
	構造強度	－	○	○	○	－
	防災・防犯	－	○	○	○	－
	バリアフリー対応度	－	○	○	○	－
	情報化対応（OA フロア）	－	○	○	○	－
	環境配慮対応度	－	○	○	○	－
	敷地面積	－	－	－	－	－
	延べ面積	－	－	－	－	－
	立地条件	○	○	○	○	○
	維持管理費効率	－	－	○	○	－
	光熱水費効率	－	－	○	○	－
施設ニーズ	スペース利用度①(18.4 ㎡/人)	○	○	○	○	○
	スペース利用度②（9.1 ㎡/人）	○	○	○	○	○
	利用者満足度	○	○	○	○	－
	職員満足度	○	○	○	○	－
	駐車場	－	○	－	－	－
	道路アクセス	－	○	－	－	－
	近隣の公共施設の数	○	－	○	○	－
施設健全度	建築	－	○	○	○	－
	電気設備	－	○	○	○	－
	機械設備	－	○	○	○	－
可変性	床積載荷重	－	○	○	○	－
	階高	－	○	○	○	－
	最大増床可能面積	－	○	○	○	－
	集団規定適合	－	○	－	○	－
施設重要度	防災・避難施設	－	－	○	○	－
	洪水リスク	○	○	○	○	○
	急傾斜地リスク	○	○	○	○	○
	文化的価値	－	－	○	○	－
評価項目数		１０	２５	２７	２８	７

※○が付いている箇所：各区分の評価項目対象

【図８】利活用適合性凡例

建替	立地条件やスペース利用度、近隣の公共施設の数、災害リスク（洪水・急傾斜地）で評価が高く、遵法性（構造・天井）や利用者満足度で課題がある場合は、施設を建替えることとする。
転用	全体的に評価が高い状態にあるものの、施設ニーズにおけるスペース利用度や利用者満足度、道路アクセス、駐車場の項目で課題がある場合は、内装更新や利活用方法改善を実施して施設を継続的に使用することに適している。
継続利用（60年）	全体的に評価が高い状態にあり、課題も少ない場合は、既存の施設を使用し続けることに適している。建築後60年まで使用を継続する。
継続利用（90年）	継続利用と比較し、さらに評価の高い状態にあり、課題も少ない場合は、長寿命化改修を実施して既存の施設を使用し続けることに適している。建築後90年まで使用を継続する。
廃止	遵法性（構造・天井）や立地条件、スペース利用度、災害リスク（洪水・急傾斜地）の項目で課題がある場合は、施設を廃止または、行政機能を移転することとする。

（B）　長寿命化要件への該当の有無

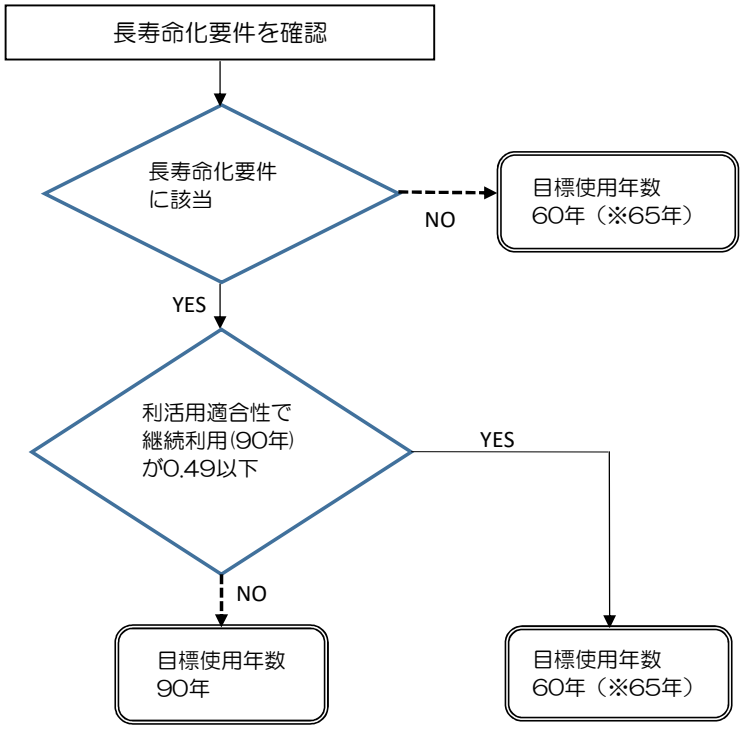
施設アセスメント調査に加え、構造や建築年等の要件により、長寿命化が見込まれる建物に該当するかどうかを検討しています。

【図９】長寿命化の要件

長寿命化の要件
鉄骨造の建物もしくは建築年が1972年以降の鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の建物
延床面積が500㎡以上の建物

（A）施設アセスメント調査結果や（B）長寿命化要件への該当の有無、施設の個別状況等を踏まえながら、利活用の方向性を整理・記載しています。

【図１０】目標使用年数の設定



※原則60年とするが、長寿命化要件に非該当の場合で大規模改修等の履歴を考慮する場合は65年、保全計画を策定している場合にはその計画に基づく目標使用年数とするなど、施設の状況に応じて目標使用年数を設定。

③　計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション（施設アセスメント調査）
（※各施設において事業が継続されることを前提として記載しています。）

長寿命化や予防保全の取組を踏まえ、施設アセスメント調査により計画期間内の概算ライフサイクルコストを算出し、シミュレーションを行っています。

なお、このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

【図１１】シミュレーション費用の項目

項　目	定　義
建替費用	既存建物の解体撤去費を含めた建物の建替に要する費用
転用費用	利用形態に適した建物とするための内装改修を主体とした転用工事に要する費用
長寿命化費用	コンクリートの中性化防止や鉄骨部材の腐食防止等、建物の長寿命化対策に要する費用
更新・修繕費	建物を構成する主要な建築部位、電気・機械設備の更新や予防保全に係る修繕に要する費用
維持管理費	建物にかかる年間の維持管理費や光熱水費に要する費用
撤去費	建物の解体撤去に要する費用

７．計画の着実な推進

（１）施設の実態把握

施設利用者の安全を確保するとともに、県の財政負担を軽減しつつより良い住民サービスを提供するため、建築物の機能・性能の劣化状況を把握し、適切に改修、更新を行うことで故障等を未然に防ぐ予防保全を推進し、建築物の機能維持向上に向けて計画的に取り組みます。

（２）推進体制等

「経営戦略的視点に立った県有財産の管理に関する基本方針（熊本県公共施設等総合管理計画）」（以下、「基本方針」という。）に基づき、全庁的な推進体制として「熊本県県有財産利活用推進会議」を設置しています。

同推進会議では、基本方針を推進するうえで特に重要な事項について、協議調整を行い、さらに個別、具体的な検討が必要な場合は、同推進会議にワーキンググループを設置し、実務的な検討を行うこととしています。

今回策定した個別施設計画についても、計画に基づく取組の進捗管理等を行うため、同推進会議やワーキンググループを活用し、関係各課と連携しながら推進してまいります。

また、施設を取り巻く環境や利用実態の変化等を把握したうえで、随時、フォローアップを行い、必要に応じて内容の見直し、充実を図ることとします。

【参考資料】個別施設計画シート一覧

施設管理所属	施設番号	施設名称	建物名
財産経営課	1	熊本県庁	行政棟本館
			議会棟
			議会棟別館
			行政棟新館
	2	熊本県知事公舎	知事公邸
	3	熊本県庁西側事務棟	事務所棟
	4	熊本県庁会議棟１号館	会議棟
	5	宇城総合庁舎	本庁舎
			会議室棟
	6	宇城保健所	庁舎
	7	上益城総合庁舎	庁舎
	8	上益城総合庁舎別館	庁舎
	9	上益城地域振興局土木部	本庁舎
			事務所棟
			会議棟
	10	県北広域本部	本庁舎
			別館
	11	菊池保健所	庁舎
	12	玉名総合庁舎	庁舎
	13	有明保健所	庁舎
	14	鹿本総合庁舎	庁舎
	15	山鹿保健所	庁舎
	16	阿蘇総合庁舎	本庁舎
			別館
	17	内牧庁舎	庁舎
	18	県南広域本部	庁舎
	19	芦北総合庁舎	庁舎
	20	水俣保健所	庁舎
	21	球磨総合庁舎	本庁舎
			会議棟
	22	旧人吉保健所	庁舎
	23	天草広域本部	本庁舎
			会議棟
	24	天草保健所	庁舎
	25	旧天草地域ダム建設事務所	庁舎
消防保安課	26	消防学校	本館
			武道場
			訓練場・救急教室
			寄宿舎
	27	防災消防航空センター	事務所・格納庫
税務課	28	自動車税事務所	事務所棟
文企世課	29	博物館ネットワークセンター	本館
	30	県立劇場	劇場
交政課	31	旧防災消防航空センター	旧防災消防航空センター事務所
健康福祉政策課	32	保健環境科学研究所	本館
	33	総合福祉センター	本館
	34	福祉総合相談所	本館
健康危機管理課	35	動物愛護センター	管理棟
	36	食肉衛生検査所	事務所棟
			検査棟
子ども家庭福祉課	37	県立清水が丘学園	本館
			児童棟
障がい者支援課	38	精神保健福祉センター	本館
			旧器楽練習棟
	39	身体障害児者総合福祉センター	第１本館
			体育館
	40	こども総合療育センター	訓練棟
			生活・医療棟
			母子棟
			厨房棟
			外来棟
			通園棟
環境立県推進課	41	環境センター	事務所棟
自然保護課	42	小岱山国民休養地	ビジターセンター
	43	坊中野営場	管理棟
	44	鳥獣保護センター	本館
	45	富岡集団施設	ビジターセンター

施設管理所属	施設番号	施設名称	建物名
自然保護課	46	天草ビジターセンター	ビジターセンター
労働雇用創生課	47	熊本勤労者総合福祉センター	テルサ本館
	48	高等技術専門校	体育館
			寄宿舎
			教室棟
			管理棟
	49	技術短期大学校	本部棟
			学生ホール
			実習棟Ａ
			実習棟Ｂ
			実習棟Ｃ
			講堂・体育館
			在職者セミナー棟
			映像システム技術科実習棟
産業支援課	50	産業技術センター	電子機械分館
			精密機械分館
			実験棟１
			実験棟２
			本館
	51	産業技術センター（農産加工部）	研究棟
観光企画課	52	野外劇場アスペクタ	野外コンサート場
販路拡大ビジネス課	53	熊本産業展示場	展示場
	54	県伝統工芸館	本館
農林水産政策課	55	農業公園	農業館
			管理事務所
			多目的ホール
			物産館
			和風レストラン
			会議棟
農業技術課	56	農業研究センター	本館
	57	茶業研究所	管理実験棟
	58	アグリシステム総合研究所	本館実験棟
			研修館
			アグリビジネスセンター
			長期貯蔵技術研究棟
	59	果樹研究所	本館
			作業室棟
			研修館
	60	草地畜産研究所	体育館
			放牧技術研究棟
			肉用牛等繁殖技術研修施設
	61	高原農業研究所	事務所棟
	62	天草農業研究所（果樹部）	事務所棟
			農舎棟
		（作物部）	農舎棟
	63	球磨農業研究所	本館
			農民研修館
	64	農産園芸研究所	作物水田棟
			作物原種棟
			畑作生物資源棟
			野菜栽培棟
			花き野菜品種棟
			現業職員休憩室
			試験蚕室棟
	65	畜産研究所	繁殖センター試験研究棟
	66	生産環境研究所	環境棟
畜産課	67	中央家畜保健衛生所	本館
			防疫資材等保管倉庫
	68	城北家畜保健衛生所	管理棟及び防疫衛生棟
	69	阿蘇家畜保健衛生所	管理棟及び防疫衛生棟
	70	城南家畜保健衛生所	本舘
	71	天草家畜保健衛生所	本館
	72	畜産研究所精液処理施設	精液処理施設
農地・担い手支援課	73	農業大学校	管理棟
			調理、機械棟
			研究・講義棟
			就農支援研修施設

施設管理所属	施設番号	施設名称	建物名
農地・担い手支援課	73	農業大学校	体育館
			畜産講義棟
			学生寮
			研修交流館
森林整備課	74	林業研究・研修センター	本館
			木材研究棟
	75	林業技術研修センター	研修棟
			林業技術研修センター２号館
水産振興課	76	水産研究センター	本館
	77	牛深種苗生産施設	本館
	78	大矢野種苗生産施設	本館
	79	漁業取締事務所	本館
土木技術管理課	80	建設技術センター	試験棟
			研修棟
河川課	81	亀川ダム管理所	管理所
	82	石打ダム管理所	管理棟
			資料館
	83	坪井川水系遊水地管理棟	管理棟
	84	氷川ダム管理所	管理棟
	85	上津浦ダム管理棟	管理棟
	86	市房ダム管理所	制御室
湾港課	87	天草空港管理事務所	空港ターミナルビル
教育政策課	88	県立教育センター	本館棟
			技術家庭棟
			情報処理教育棟
			理科研修棟
			体育研修棟
社会教育課	89	天草青年の家	本館
			講堂
			体育館
			宿舎Ａ
			宿舎Ｂ
			食堂
			宿泊棟（和室）
	90	菊池少年自然の家	管理棟
			宿泊棟Ａ
			宿泊棟Ｂ
			雨天遊戯室
			研修室
	91	豊野少年自然の家	管理棟
			宿泊棟
			体育館
	92	あしきた青少年の家	本館
			洋室宿泊棟
			和室宿泊棟
			食堂浴室棟
			体育館
	93	県立図書館	図書館
文化課	94	県文化財資料室	管理棟
			展示体験学習棟
			出土遺物整理室
			作業棟
			整理棟
	95	装飾古墳館	本館
	96	温故創生館	本館
	97	県立美術館分館	美術館分館
	98	県立美術館	展示館及び事務室
			永青文庫常設展示室
体育保健課	99	県立総合体育館	体育館
	100	藤崎台県営野球場	事務所
	101	熊本武道館	武道館
	102	熊本県民総合運動公園	体育館
	103	県総合射撃場	管理棟

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	1	施設名称	熊本県庁
	所在地	熊本市中央区水前寺六丁目	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	98,886.8 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	79,924.9 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		県行政の施策実施のための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	行政棟本館	1967	SRC	38592.3	
2	議会棟	1967	RC	5,077.1	
3	議会棟別館	1982	RC	3,780.8	
4	行政棟新館	1997	SRC	32,474.7	

3. 建物毎の概要等

（1）行政棟本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	行政棟本館	1967	SRC	38,592.3	13	2	54

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	21	19	0
適合度②/①	0.50	0.68	0.78	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　65 年 ※　（令和14 年）
	・平成12年から15年の大規模改修工事及び平成30（2018）年度から令和2（2020）年度の耐震補強工事の実施等により、少なくとも令和13（2031）年までは使用できる見込みであることから、目標使用年数を65年に設定し、適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。 ・令和5（2023）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		211.3	580.8	702.3	0.0	38.0	211.3	0.0	10.8	272.1	134.3
維持管理費		171.5	171.5	171.5	171.5	171.5	171.5	171.5	171.5	171.5	171.5
撤去費											
合計		382.7	752.3	873.8	171.5	209.5	382.7	171.5	182.3	443.5	305.7
累計		382.7	1,135.0	2,008.8	2,180.3	2,389.7	2,772.4	2,943.9	3,126.2	3,569.7	3,875.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）議会棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	議会棟	1967	RC	5,077.1	3	1	54

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	20	17	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.74	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和39 年）

・議会棟別館に引き続き、大規模改修工事の実施を計画していたが、現在計画を休止している。今後、県の公共工事の発注状況や建替時期を考慮の上、改修工事の実施時期を検討する必要がある。

・現時点で長寿命化要件には該当しないが、今後の大規模改修工事により長寿命化が見込めることから、使用年数を90年に設定することと、適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		604.2									
更新・修繕費		425.3		272.2	27.8		0.9		0.5	50.5	35.8
維持管理費		22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6
撤去費											
合計		1,052.0	22.6	294.7	50.3	22.6	23.5	22.6	23.1	73.0	58.4
累計		1,052.0	1,074.6	1,369.3	1,419.6	1,442.2	1,465.7	1,488.2	1,511.3	1,584.3	1,642.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（3）議会棟別館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	議会棟別館	1982	RC	3,780.8	3	1	38

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	20	15	2
適合度②/①	0.40	0.72	0.74	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和54 年）

・平成29～30年度にかけて大規模改修工事を実施した。

・長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することと、適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用			449.9								
更新・修繕費		69.1		450.3	20.7		0.7		0.4	37.6	26.7
維持管理費		16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8
撤去費											
合計		85.8	466.7	467.1	37.5	16.8	17.5	16.8	17.2	54.4	43.5
累計		85.8	552.6	1,019.7	1,057.2	1,074.0	1,091.4	1,108.2	1,125.4	1,179.8	1,223.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（4）行政棟新館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	行政棟新館	1997	SRC	32,474.7	10	1	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	20	19	1
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.68	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和69 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			628.4	4,010.3		1,951.9		1,975.2	9.1		285.8
維持管理費		144.3	144.3	144.3	144.3	144.3	144.3	144.3	144.3	144.3	144.3
撤去費											
合計		144.3	772.7	4,154.6	144.3	2,096.2	144.3	2,119.5	153.4	144.3	430.1
累計		144.3	917.0	5,071.6	5,215.9	7,312.1	7,456.4	9,575.9	9,729.2	9,873.5	10,303.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	2	施設名称	熊本県知事公舎
	所在地	熊本市中央区水前寺2丁目	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	5,424.67 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	311.5 ㎡	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的		知事の迎賓及び住居施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	知事公邸	1969	RC	311.5	

3. 棟ごとの整理

（1）知事公邸

①概要

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	知事公邸	1969	RC	311.5	1	0	52

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	23	18	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.85	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 65 年 ※ （令和16 年）
	・平成24年度に今後20年程度の使用を見越した大規模な改修工事を実施しており、少なくとも令和14年（2032年）までは使用できる見込みであることから、目標使用年数を65年に設定することと、適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。 ・今後のあり方等について検討する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

※熊本県庁等建築物個別施設計画の計画期間：10年

単位：百万円

項目	R3（2021）	R4（2022）	R5（2023）	R6（2024）	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）	R12（2030）
建替費用										
転用費用										
長寿命化費用										
更新・修繕費	13.4	0.8	20.2	0.0	0.0	0.1	0.0	2.2	0.5	1.7
維持管理費	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費										
合計	14.8	2.2	21.6	1.4	1.4	1.5	1.4	3.6	1.9	3.1
累計	14.8	17.0	38.6	40.0	41.4	42.8	44.2	47.8	49.7	52.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	3	施設名称	熊本県庁西側事務棟
	所在地	熊本市中央区水前寺六丁目	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	409.03 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	672.8 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		県行政事務を行うための執務用施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務棟	1991	SRC	672.8	

3. 建物毎の概要等

（1）事務所棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務棟	1991	SRC	672.8	3	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	15	17	14	1
適合度②/①	0.50	0.60	0.63	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和63 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和11（2029）年度を目安として、長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用												
転用費用												
長寿命化費用												
更新・修繕費			25.9		67.6			0.1		0.1	1.2	45.7
維持管理費			3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
撤去費												
合計			28.9	3.0	70.6	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	4.2	48.7
累計			28.9	31.9	102.6	105.5	108.5	111.6	114.6	117.7	121.9	170.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	4	施設名称	熊本県庁会議棟1号館
	所在地	熊本市中央区水前寺六丁目	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	1,606.41 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	1,753.8 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		県行政事務を行うための執務用施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	会議棟	1976	RC	1,753.82	

3. 建物毎の概要等

（1）事務所棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	会議棟	1976	RC	1,753.8	4	0	44

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	15	19	16	0
適合度②/①	0.50	0.60	0.70	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 90 年 ※ （令和48 年）
	・平成29年度に外壁や屋上防水等の改修工事を実施。 ・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		208.7									
更新・修繕費		86.1			12.4		0.5	19.2		3.1	106.7
維持管理費		7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8
撤去費											
合計		302.6	7.8	7.8	20.2	7.8	8.3	27.0	7.8	10.9	114.5
累計		302.6	310.4	318.2	338.4	346.1	354.4	381.5	389.2	400.1	514.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	5	施設名称	宇城総合庁舎
	所在地	宇城市松橋町久具	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	13,479.1 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	3,775.8 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		宇城地域における県行政の施策実施のための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本庁舎	1972	RC	3,173.5	
2	会議棟	1991	LS	602.3	

3. 建物毎の概要等

（1）本庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本庁舎	1972	RC	3,173.5	3	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	16	22	22	0
適合度②/①	0.60	0.64	0.81	0.79	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和44 年） ・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。なお検討にあたっては、宇城市の市道整備計画を考慮する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		377.6									
更新・修繕費		85.2	128.0	355.6	3.1		10.6		38.4		156.5
維持管理費		14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1
撤去費											
合計		477.0	142.1	369.7	17.2	14.1	24.7	14.1	52.5	14.1	170.6
累計		477.0	619.0	988.8	1,006.0	1,020.1	1,044.8	1,058.9	1,111.4	1,125.5	1,296.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）会議棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	会議棟	1991	LS	602.3	2	0	29

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	23	20	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.85	0.71	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和33 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		43.6		15.5		36.2	0.1		4.3	1.1	54.0
維持管理費		2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
撤去費											
合計		46.2	2.7	18.2	2.7	38.9	2.8	2.7	7.0	3.7	56.7
累計		46.2	48.9	67.1	69.7	108.6	111.4	114.1	121.1	124.8	181.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	6	施設名称	宇城保健所
	所在地	宇城市松橋町久具	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	総合庁舎敷地内	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	1,047.3 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		宇城地域における保健行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1974	RC	1,047.3	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1974	RC	1,047.3	2	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	20	16	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.74	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和46 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として、宇城市の市道整備計画を考慮しながら、長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		124.6									
更新・修繕費		52.6	51.6	154.2		12.1	0.2	5.7	7.5	1.8	
維持管理費		4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
撤去費											
合計		181.9	56.3	158.8	4.7	16.7	4.8	10.4	12.1	6.5	4.7
累計		181.9	238.2	397.0	401.7	418.4	423.2	433.6	445.8	452.3	456.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	7	施設名称	上益城総合庁舎
	所在地	上益城郡御船町辺田見	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	11,095.7 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	2,751.7 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		上益城地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1974	RC	2,751.7	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1974	RC	2,751.7	3	1	47

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	21	23	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.78	0.82	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 90 年 ※ （令和46 年）
	・平成30(2018)年度から令和元(2019)年度にかけて災害復旧工事(保健所機能の集約化を含む)を実施済であり、目標使用年数を90年に設定することと、適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		124.6									
更新・修繕費		52.6	51.6	154.2		12.1	0.2	5.7	7.5	1.8	
維持管理費		4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
撤去費											
合計		181.9	56.3	158.8	4.7	16.7	4.8	10.4	12.1	6.5	4.7
累計		181.9	238.2	397.0	401.7	418.4	423.2	433.6	445.8	452.3	456.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	8	施設名称	上益城総合庁舎別館
	所在地	上益城郡御船町辺田見	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	総合庁舎敷地内	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	860.0 ㎡	用途地域	近隣商業地域
施設の目的		御船保健所は総合庁舎内に移転し、現在は書庫や倉庫として使用		

位置図

写真

（出典：国土地理院））

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1973	RC	860.0	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1973	RC	860.0	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	22	18	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.81	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和45 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		102.3									
更新・修繕費		61.4	0.1	55.8		42.4	0.2	0.1	6.1	3.8	4.7
維持管理費		3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
撤去費											
合計		167.5	3.9	59.7	3.8	46.2	4.0	3.9	9.9	7.7	8.5
累計		167.5	171.4	231.1	234.9	281.1	285.1	289.0	298.9	306.5	315.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	9	施設名称	上益城地域振興局土木部
	所在地	上益城郡山都町下馬尾	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	3,805.4 ㎡	都市計画区域	都市計画域外
	延床面積	1,281.6 ㎡	用途地域	
施設の目的		上益城地域における土木行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本庁舎	1971	RC	735.1	
2	事務所棟	2000	LS	330.5	
3	会議棟	1986	LS	216.0	

3. 建物毎の概要等

（1）本庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本庁舎	1971	RC	735.1	2	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	19	17	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.61	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和13 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和9（2027）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		6.6	5.0	6.0	1.3		5.4	6.4	4.0		
維持管理費		3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
撤去費											
合計		9.9	8.3	9.3	4.6	3.3	8.7	9.6	7.3	3.3	3.3
累計		9.9	18.2	27.4	32.0	35.3	43.9	53.5	60.8	64.1	67.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)事務所棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	事務所棟	2000	LS	330.5	2	0	20

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	2	15	17	15	2
適合度②/①	0.20	0.60	0.63	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和42 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		12.4		24.4	0.6	22.6	0.1	2.9	4.1		12.6
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		13.9	1.5	25.9	2.0	24.0	1.6	4.3	5.6	1.5	14.1
累計		13.9	15.3	41.2	43.3	67.3	68.9	73.2	78.8	80.3	94.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)会議棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	会議棟	1986	LS	216.0	2	0	35

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	2	13	14	13	2
適合度②/①	0.20	0.52	0.52	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和28 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		33.9		10.7		2.5	0.1	1.9	2.7	0.4	
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		34.9	1.0	11.6	1.0	3.4	1.0	2.8	3.7	1.3	1.0
累計		34.9	35.9	47.5	48.4	51.9	52.9	55.7	59.4	60.7	61.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	10	施設名称	県北広域本部
	所在地	菊池市隈府	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	16,182.1 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	3,557.0 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		県北地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本庁舎	1970	RC	2,710.2	
2	別館	1984	RC	846.8	

3. 建物毎の概要等

(1)本庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本庁舎	1970	RC	2,710.2	3	1	50

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	19	16	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.70	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和12 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和8（2026）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											1,626.1
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		13.7	59.4	36.5			0.8		14.8	19.1	
維持管理費		12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
撤去費											
合計		25.8	71.5	48.5	12.0	12.0	12.8	12.0	26.9	31.1	1,638.2
累計		25.8	97.3	145.8	157.8	169.8	182.6	194.7	221.6	252.7	1,890.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）別館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	別館	1984	RC	846.8	2	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	16	16	2
適合度②/①	0.50	0.64	0.59	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和56 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和4（2022）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					100.8						
更新・修繕費		89.0		129.7			0.2		10.6	1.5	
維持管理費		3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
撤去費											
合計		92.8	3.8	133.5	104.5	3.8	4.0	3.8	14.4	5.2	3.8
累計		92.8	96.5	230.0	334.5	338.3	342.3	346.1	360.4	365.7	369.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	11	施設名称	菊池保健所
	所在地	菊池市隈府	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	総合庁舎敷地内	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	867.7 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		県北地域における保健行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1969	RC	867.7	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1969	RC	867.7	2	0	52

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	17	1
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和11 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することができる。

・県北広域本部庁舎と併せて令和6（2024）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用										520.6	
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		5.1	6.1	13.1		7.5	0.2		4.8		
維持管理費		3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
撤去費											
合計		8.9	10.0	17.0	3.9	11.4	4.0	3.9	8.7	524.5	3.9
累計		8.9	18.9	35.9	39.7	51.1	55.1	59.0	67.7	592.1	596.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	12	施設名称	玉名総合庁舎
	所在地	玉名市岩崎	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	13,247.9 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	3,757.4 ㎡	用途地域	準住居地域
施設の目的		玉名地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1975	RC	3,757.4	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1975	RC	3,757.4	4	1	45

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	21	18	1
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和47 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		447.1									
更新・修繕費		8.7		308.4	0.7	185.3		41.3	0.4	18.6	47.1
維持管理費		16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
撤去費											
合計		472.5	16.7	325.1	17.4	202.0	16.7	58.0	17.1	35.3	63.8
累計		472.5	489.2	814.3	831.6	1,033.6	1,050.3	1,108.3	1,125.4	1,160.7	1,224.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	13	施設名称	有明保健所
	所在地	玉名市岩崎	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	総合庁舎敷地内	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	1,234.5 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		玉名地域における保健行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1977	RC	1,234.5	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1977	RC	1,234.5	2	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	21	20	1
適合度②/①	0.40	0.68	0.78	0.71	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和49 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		146.9									
更新・修繕費		101.8		62.2		2.1	0.2	10.7	15.6	2.2	14.2
維持管理費		5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5
撤去費											
合計		254.2	5.5	67.7	5.5	7.6	5.7	16.2	21.1	7.6	19.7
累計		254.2	259.7	327.4	332.9	340.5	346.3	362.4	383.5	391.1	410.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	14	施設名称	鹿本総合庁舎
	所在地	山鹿市山鹿	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	9,964.5 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	3,017.1 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		鹿本地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1971	RC	3,017.1	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1971	RC	3,017.1	3	1	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	20	21	21	2
適合度②/①	0.40	0.80	0.78	0.75	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　65 年
※　（令和18 年）

・令和元（2019）年度から令和2（2020）年度にかけて保健所機能の集約化を含む改修工事を実施しており、目標使用年数を65年に設定することと、適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や駐車場に課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		1.8	1.9	68.4	17.6				23.4	50.4	22.3
維持管理費		13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
撤去費											
合計		15.2	15.3	81.8	31.0	13.4	13.4	13.4	36.8	63.8	35.7
累計		15.2	30.5	112.4	143.4	156.8	170.2	183.6	220.5	284.3	320.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	15	施設名称	山鹿保健所
	所在地	山鹿市山鹿	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	2,760.3 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	686.0 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		鹿本地域における保健行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1966	RC	686.0	

3. 棟ごとの整理

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1966	RC	686.0	1	0	54

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	17	15	0
適合度②/①	0.50	0.64	0.63	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和8 年）

・令和3年度に鹿本総合庁舎内へ移転予定であり、移転後は売却を進める。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費											
維持管理費											
撤去費		34.3									
合計		34.3									
累計		34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	16	施設名称	阿蘇総合庁舎
	所在地	阿蘇市一の宮町宮地	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	11,424.7 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	3,493.7 ㎡	用途地域	
施設の目的		阿蘇地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本庁舎	1971	RC	3,024.2	
2	別館	1987	RC	469.5	

3. 建物毎の概要等

(1)本庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本庁舎	1971	RC	3,024.2	3	1	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	20	21	18	1
適合度②/①	0.60	0.80	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和13 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和9（2027）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（職員満足度や駐車場、道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		21.3	5.3	49.9					73.1		5.3
維持管理費		13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
撤去費											
合計		34.8	18.7	63.3	13.4	13.4	13.4	13.4	86.5	13.4	18.7
累計		34.8	53.5	116.8	130.3	143.7	157.1	170.6	257.1	270.5	289.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）別館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	別館	1987	RC	469.5	2	0	34

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	20	18	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年

※　（令和29 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		61.8		36.3		23.2	0.1		3.4	0.8	2.6
維持管理費		2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
撤去費											
合計		63.9	2.1	38.4	2.1	25.2	2.2	2.1	5.4	2.9	4.7
累計		63.9	66.0	104.4	106.5	131.7	133.9	136.0	141.4	144.3	149.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	17	施設名称	内牧庁舎
	所在地	阿蘇市内牧	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	3,604.4 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	902.2 ㎡	用途地域	
施設の目的		阿蘇保健所は総合庁舎内に移転し、現在は書庫や倉庫として使用		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1981	RC	902.2	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1981	RC	902.2	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	19	16	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.70	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和53 年）

・令和元年度に阿蘇総合庁舎内へ移転しており、できるだけ早期に売却する。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費											
維持管理費											
撤去費		45.1									
合計		45.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累計		45.1	45.1	45.1	45.1	45.1	45.1	45.1	45.1	45.1	45.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	18	施設名称	県南広域本部
	所在地	八代市西片町	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	17,308.4 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	6,831.0 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		県南地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1996	RC	6,831.0	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1996	RC	6,831.0	5	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	22	20	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.81	0.71	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和68 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		56.2	1.9	902.2		78.6		60.9	49.2		48.2
維持管理費		30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4
撤去費											
合計		86.5	32.3	932.5	30.4	109.0	30.4	91.3	79.6	30.4	78.5
累計		86.5	118.8	1,051.3	1,081.6	1,190.6	1,221.0	1,312.2	1,391.8	1,422.1	1,500.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	19	施設名称	芦北総合庁舎
	所在地	葦北郡芦北町	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	12,219.1 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	2,837.5 ㎡	用途地域	
施設の目的		芦北地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1974	RC	2,837.5	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1974	RC	2,837.5	3	0	47

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	6	16	22	22	0
適合度②/①	0.60	0.64	0.81	0.79	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和46 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		337.7									
更新・修繕費		116.0		326.0		38.1		1.7	16.3		52.7
維持管理費		12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6
撤去費											
合計		466.3	12.6	338.6	12.6	50.8	12.6	14.3	28.9	12.6	65.3
累計		466.3	478.9	817.5	830.1	880.8	893.5	907.8	936.7	949.3	1,014.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	20	施設名称	水俣保健所
	所在地	水俣市八幡町	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	2,795.5 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	961.6 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		芦北地域における保健行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1982	RC	961.6	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1982	RC	961.6	2	0	38

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	19	15	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.70	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和54 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用			114.4								
更新・修繕費		72.0		100.8		57.8	0.2		13.1	1.7	
維持管理費		4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
撤去費											
合計		76.3	118.7	105.0	4.3	62.1	4.4	4.3	17.4	6.0	4.3
累計		76.3	195.0	300.0	304.3	366.3	370.8	375.0	392.4	398.4	402.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	21	施設名称	球磨総合庁舎
	所在地	人吉市西間下町	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	15,029.9 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	4,278.1 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		球磨地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院））

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本庁舎	1966	RC	3,428.1	
2	会議棟	1980	RC	850.0	

3. 建物毎の概要等

(1)本庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本庁舎	1966	RC	3,428.1	4	0	54

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	22	20	0
適合度②/①	0.50	0.68	0.81	0.71	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　65 年
※　（令和13 年）

・平成29（2017）年度から平成30（2018）年度にかけて保健所機能の集約化を含む改修工事を実施済であり、目標使用年数を65年に設定して適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。

・令和9（2027）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				78.2		36.2			30.3		24.8
維持管理費		15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2
撤去費											
合計		15.2	15.2	93.4	15.2	51.5	15.2	15.2	45.6	15.2	40.0
累計		15.2	30.5	123.9	139.1	190.6	205.8	221.0	266.6	281.8	321.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）会議棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	会議棟	1980	RC	850.0	2	0	40

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	22	18	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.81	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和52 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。
・長寿命化改修の実施（築後40年目を基準）について、本庁舎の建替等の検討に併せて検討する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		101.2									
更新・修繕費		31.3		45.2		58.4	0.2	9.8	6.6	1.5	47.9
維持管理費		3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
撤去費											
合計		136.2	3.8	49.0	3.8	62.2	3.9	13.6	10.4	5.3	51.7
累計		136.2	140.0	189.0	192.8	255.0	258.9	272.5	282.8	288.1	339.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	22	施設名称	旧人吉保健所
	所在地	人吉市寺町	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	4,083.0 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	891.8 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		人吉保健所は総合庁舎内に移転し、城南家畜保健衛生所の仮庁舎（令和4（2022）年3月まで）等として使用		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1971	RC	891.8	

3. 建物毎の概要等

（1）庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1971	RC	891.8	2	0	50

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	19	15	0
適合度②/①	0.40	0.60	0.70	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和13 年）

・できるだけ早期に売却する。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費											
維持管理費											
撤去費		44.6									
合計		44.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累計		44.6	44.6	44.6	44.6	44.6	44.6	44.6	44.6	44.6	44.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	23	施設名称	天草広域本部
	所在地	天草市本渡	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	22,190.0 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	4,610.1 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		天草地域における県行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本庁舎	1969	RC	4,019.3	
2	会議棟	1992	RC	590.8	

3. 建物毎の概要等

(1)本庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本庁舎	1969	RC	4,019.3	4	0	51

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	22	23	0
適合度②/①	0.50	0.68	0.81	0.82	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 90 年 ※ （令和41 年）
	・令和元（2019）年度から令和3（2021）年度にかけて保健所機能の集約化を含む長寿命化工事を実施しており、目標使用年数を90年に設定して適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		478.3									
更新・修繕費		2.3	108.0	121.6	22.0	95.1		7.0	0.4	59.7	19.9
維持管理費		17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9
撤去費											
合計		498.5	125.8	139.5	39.9	113.0	17.9	24.9	18.3	77.6	37.8
累計		498.5	624.3	763.8	803.6	916.6	934.5	959.4	977.6	1,055.2	1,093.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）会議棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	会議棟	1992	RC	590.8	2	0	28

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	24	21	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.89	0.75	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和64 年）

・令和元（2019）年度から令和3（2021）年度にかけて保健所機能の集約化を含む長寿命化工事を実施しており、目標使用年数を90年に設定して適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.2	46.0	3.3		5.1	0.1	3.2	4.2	0.6	1.0
維持管理費		2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
撤去費											
合計		40.8	48.6	6.0	2.6	7.7	2.7	5.9	6.8	3.2	3.7
累計		40.8	89.4	95.4	98.0	105.7	108.5	114.3	121.2	124.4	128.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	24	施設名称	天草保健所
	所在地	天草市今釜新町	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	総合庁舎敷地内	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	853.1 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		天草地域における保健行政の施策実施のための場所		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1970	RC	853.1	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1970	RC	853.1	2	0	51

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	15	18	15	0
適合度②/①	0.50	0.60	0.67	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　65 年
※　（令和17 年）

・令和3年度に天草総合庁舎の会議棟へ移転予定であり、移転後は書庫や倉庫として少なくとも令和17年(2035年)までは使用できる見込みであることから、目標使用年数を65年に設定することと、適切な保全を実施しながら継続利用することが可能である。

・令和12(2030)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											511.9
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		9.1		26.3			0.2		4.8	1.5	
維持管理費		3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
撤去費											
合計		12.8	3.8	30.1	3.8	3.8	3.9	3.8	8.5	5.3	515.7
累計		12.8	16.6	46.7	50.5	54.3	58.2	62.0	70.6	75.9	591.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	25	施設名称	旧天草地域ダム建設事務所
	所在地	天草市今釜新町	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	地域振興局別館敷地	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	540.0 ㎡	用途地域	第一種住居地域
施設の目的		天草地域ダム建設事務所は廃止し、現在は書庫や倉庫として使用		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	庁舎	1998	LS	540.0	

3. 建物毎の概要等

(1)庁舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	庁舎	1998	LS	540.0	2	0	22

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	20	17	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.74	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和40 年）

・できるだけ早期に売却する。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費											
維持管理費											
撤去費		10.8									
合計		10.8									
累計		10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	26	施設名称	消防学校
	所在地	上益城郡益城町惣領	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	44,425.0 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延面積計	4,567.8 ㎡	用途地域	
施設の目的		消防職員及び消防団員等の育成		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1981	RC	1,420.0	
2	武道場	1981	RC	210.2	
3	訓練場・救急教室	2019	S	1,193.6	
4	寄宿舎	1981	RC	1,744.0	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1981	RC	1,420.0	3	0	40

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	18	14	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.67	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 90 年 ※ （令和53 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や利用者満足度、道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		169.0									
更新・修繕費		45.0		150.0	1.4	85.3	0.3		0.1	2.5	80.0
維持管理費		6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3
撤去費											
合計		220.3	6.3	156.3	7.7	91.7	6.6	6.3	6.5	8.8	86.3
累計		220.3	226.6	383.0	390.7	482.3	488.9	495.2	501.7	510.5	596.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)武道場

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	武道場	1981	RC	210.2	1	0	40

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	18	14	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.67	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和23 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		13.6		4.1			0.0	0.2	1.0	0.3	1.3
維持管理費		0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
撤去費											
合計		14.5	0.9	5.1	0.9	0.9	1.0	1.2	2.0	1.2	2.2
累計		14.5	15.5	20.5	21.5	22.4	23.4	24.5	26.5	27.7	29.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)訓練場・救急教室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	訓練場・救急教室	2019	S	1,193.6	2	0	1

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	20	21	20	0
適合度②/①	0.40	0.80	0.78	0.71	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和91 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(利用者の満足度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				102.0	0.3	71.7	8.4	2.1	6.5	12.0	
維持管理費		5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
撤去費											
合計		5.3	5.3	107.3	5.6	77.0	13.7	7.4	11.8	17.3	5.3
累計		5.3	10.6	117.9	123.5	200.6	214.3	221.7	233.5	250.8	256.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（4）寄宿舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	寄宿舎	1981	RC	1,744.0	3	0	60

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	16	15	13	2
適合度②/①	0.60	0.64	0.56	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和23 年）

・長寿命化要件に該当するが、継続利用（90年）への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		105.1	26.4	59.1		73.4			23.7		5.9
維持管理費		7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
撤去費											
合計		112.9	34.1	66.9	7.7	81.1	7.7	7.7	31.5	7.7	13.7
累計		112.9	147.0	213.8	221.6	302.7	310.4	318.2	349.7	357.4	371.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

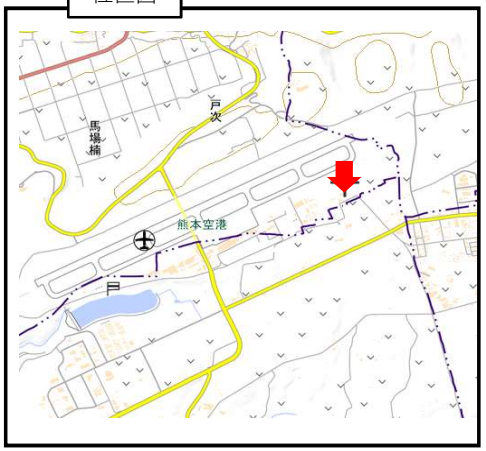
個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	27	施設名称	防災消防航空センター
	所在地	菊池郡菊陽町	施設管理所属	消防保安課
	敷地面積	熊本空港関連用地内	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,163.8 ㎡	用途地域	
施設の目的		九州における災害等に対応する広域防災拠点		

位置図



（出典：国土地理院）

写真

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所・格納庫	2017	その他	1,163.8	

3. 建物毎の概要等

（1）事務所・格納庫

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所・格納庫	2017	その他	1,163.8	1	0	3

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	2	17	18	16	2
適合度②/①	0.20	0.68	0.67	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和59 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			34.8	108.7				4.9	0.1		7.7
維持管理費		5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2
撤去費											
合計		5.2	40.0	113.8	5.2	5.2	5.2	10.1	5.3	5.2	12.9
累計		5.2	45.2	159.0	164.2	169.3	174.5	184.6	189.9	195.0	207.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	28	施設名称	熊本自動車税事務所
	所在地	熊本市東区東町	施設管理所属	財産経営課
	敷地面積	1,500.2 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	588.4 ㎡	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的		自動車税に係る業務施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所棟	1982	RC	588.4	

3. 建物毎の概要等

（1）事務所棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所棟	1982	RC	588.4	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	20	16	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和54 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用			70.0								
更新・修繕費		42.0		38.9		35.4	0.1		4.2	1.0	35.8
維持管理費		2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
撤去費											
合計		44.6	72.6	41.5	2.6	38.0	2.7	2.6	6.8	3.6	38.4
累計		44.6	117.2	158.7	161.3	199.3	202.0	204.6	211.4	215.1	253.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

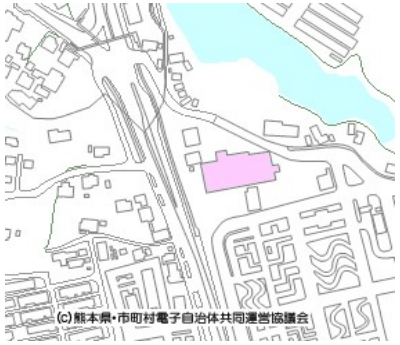
個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	29	施設名称	博物館ﾈｯﾄﾜｰｸｾﾝﾀｰ
	所在地	宇城市松橋町豊福	施設管理所属	文化企画・世界遺産推進課
	敷地面積	61,917.4 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	2,893.5 ㎡	用途地域	
施設の目的		熊本県内の博物館等との連携を図り、県内全域の博物館活動を活性化させる		

位置図



写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1983	RC	2,893.5	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1983	RC	2,893.5	2	0	37

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	19	16	3
適合度②/①	0.30	0.76	0.70	0.57	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和55 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度に課題）

・令和3（2021）年度に下水道接続工事を実施する。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				344.3							
更新・修繕費		201.8		61.1	10.0	88.4	7.5		39.4		9.8
維持管理費		12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9
撤去費											
合計		214.6	12.9	418.3	22.8	101.3	20.4	12.9	52.2	12.9	22.7
累計		214.6	227.5	645.7	668.6	769.8	790.2	803.1	855.3	868.1	890.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	30	施設名称	県立劇場
	所在地	熊本市中央区大江2丁目	施設管理所属	文化企画・世界遺産推進課
	敷地面積	44,414.76 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	23,658.4 ㎡	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的		コンサートや演劇等を行う文化活動の場		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	県立劇場	1982	SRC	23,658.4	

3. 建物毎の概要等

（1）県立劇場

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	県立劇場	1982	SRC	23,658.4	3	2	38

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	15	19	18	1
適合度②/①	0.60	0.60	0.70	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和54 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。
・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。
・平成27（2015）年度に策定した「熊本県立劇場保全計画」に基づき、2017年から2026年にかけて大規模改修工事を実施する。設備等についても設定された年数に基づき、計画的に更新を行う。
≪令和5（2023）年度実施工事≫
※設計は令和3（2021）～4（2022）年度に実施
・自家発電装置、照明設備
・中央監視設備、自動制御等
・直流電源装置、調光機器等
・レストラン改修
≪令和8（2026）年度実施工事≫
※設計は令和6（2024）～7（2025）年度に実施
・転位、建具、屋上防水、受変電設備、駐車場管制、空調機・ダクト等
・アスファルト外溝

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		0.0	2,815.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
更新・修繕費		1,738.6	76.7	723.3	0.0	2,051.1	0.0	0.0	321.8	0.0	80.2
維持管理費		105.1	105.1	105.1	105.1	105.1	105.1	105.1	105.1	105.1	105.1
撤去費											
合計		1,843.7	2,997.1	828.4	105.1	2,156.2	105.1	105.1	426.9	105.1	185.4
累計		1,843.7	4,840.8	5,669.2	5,774.4	7,930.5	8,035.6	8,140.8	8,567.6	8,672.7	8,858.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	31	施設名称	旧防災消防航空センター
	所在地	上益城郡益城町	施設管理所属	交通政策課
	敷地面積	7,332.58 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	408.8 ㎡	用途地域	－
施設の目的	本県の航空防災に関する業務拠点（廃止）			

位置図

（出典：国土地理院）

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	旧防災消防航空センター事務所	1991	LS	408.8	

3. 建物毎の概要等

（1）旧防災航空センター事務所

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	旧防災消防航空センター事務所	1991	LS	408.8	2	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	2	15	16	14	1
適合度②/①	0.20	0.60	0.59	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和33 年）
	・平成29（2017）年の新事務所建築に伴い、防災航空センター機能移転済。現在は使用しておらず、かつ、建物については老朽化や熊本地震による被害が大きいことから、令和4年度に取壊しの予定

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費											
維持管理費		1.8	1.8								
撤去費			20.4								
合計		1.8	22.2								
累計		1.8	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	32	施設名称	保健環境科学研究所
	所在地	宇土市栗崎町	施設管理所属	健康福祉政策課
	敷地面積	22,998.7 ㎡	都市計画区域	その他の区域
	延床面積	5,436.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		保健並びに環境分野の中核的試験研究施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1995	RC	5,436.1	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1995	RC	5,436.1	3	0	26

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	18	13	2
適合度②/①	0.30	0.76	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数　60 年 ※　（令和37 年） ・長寿命化要件に該当するが、継続利用（90年）への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用		867.8									
長寿命化費用											
更新・修繕費		110.2	55.4	605.1	0.7	455.0			35.1	0.7	36.2
維持管理費		24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2
撤去費											
合計		1,002.1	79.5	629.2	24.8	479.2	24.2	24.2	59.3	24.8	60.4
累計		1,002.1	1,081.6	1,710.9	1,735.7	2,214.9	2,239.0	2,263.2	2,322.5	2,347.3	2,407.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	33	施設名称	総合福祉センター
	所在地	熊本市中央区南千反畑町	施設管理所属	健康福祉政策課
	敷地面積	2,193.0 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	5,790.7 ㎡	用途地域	商業地域
施設の目的		福祉情報の提供、福祉人材の養成・確保並びに社会福祉に関する相談等を行う民間福祉活動の拠点		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1993	SRC	5,790.7	

3. 建物毎の概要等

（1）行政棟本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1993	SRC	5,790.7	5	1	27

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	17	16	1
適合度②/①	0.50	0.64	0.63	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90 年 ※ （令和65 年） ・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		378.7		497.7					98.4		
維持管理費		25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7
撤去費											
合計		404.5	25.7	523.4	25.7	25.7	25.7	25.7	124.1	25.7	25.7
累計		404.5	430.2	953.6	979.3	1,005.0	1,030.8	1,056.5	1,180.6	1,206.4	1,232.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	34	施設名称	福祉総合相談所
	所在地	熊本市東区長嶺南2丁目	施設管理所属	健康福祉政策課
	敷地面積	9,506.0 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	4,438.4 ㎡	用途地域	準住居地域
施設の目的		子どもたちや女性、障がいのある方などのご相談に対して、医学的、心理学的な診断などをもとに、総合的な支援サービスを行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1989	RC	4,438.4	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1989	RC	4,438.4	2	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	18	18	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.67	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和61 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定し、長寿命化改修の実施（築後40年目を基準）を検討する必要がある。

・令和8（2026）年度を目安として長寿命化改修の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										528.2	
更新・修繕費		273.2	0.4	715.7		59.0	0.8	3.1	55.6	14.8	
維持管理費		19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7
撤去費											
合計		292.9	20.2	735.4	19.7	78.8	20.5	22.8	75.3	562.7	19.7
累計		292.9	313.1	1,048.5	1,068.2	1,147.0	1,167.5	1,190.3	1,265.6	1,828.3	1,848.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	35	施設名称	動物愛護センター
	所在地	熊本市東区戸島町	施設管理所属	健康危機管理課
	敷地面積	2,644.0 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	457.9 ㎡	用途地域	
施設の目的		県内の保健所が引き取った犬や猫の適正な飼育等、動物愛護行政の推進		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1979	RC	457.9	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1979	RC	457.9	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	15	13	9	3
適合度②/①	0.60	0.60	0.48	0.32	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和21 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和2（2020）年3月に策定した熊本県動物愛護センター基本計画の中で、新たな場所に愛護機能を有する施設整備の必要性及び現動物愛護センターの改修の必要性について検討。新しい動物愛護センター完成後（令和5（2023）年度末に完成予定）、現動物愛護センターを令和6（2024）年度を目安として改修に着手する予定。

※シミュレーションは転用（建替費用も計上）。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用				274.7							
転用費用		68.7									
長寿命化費用											
更新・修繕費		60.8		23.4		0.5	0.1		5.7	1.1	
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		131.5	2.0	300.1	2.0	2.5	2.2	2.0	7.8	3.1	2.0
累計		131.5	133.6	433.7	435.8	438.2	440.4	442.4	450.2	453.3	455.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	36	施設名称	食肉衛生検査所
	所在地	菊池市七城町	施設管理所属	健康危機管理課
	敷地面積	4,363.1 ㎡	都市計画区域	
	延面積計	1,247.4 ㎡	用途地域	
施設の目的	と畜場法等の規定により、と畜場等で解体・処理される獣畜等の検査及び監視、指導を実施し、安心・安全な食肉の流通を図る			

位置図

写真

2. 施設の状況

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務棟	2020	W	701.2	
2	検査棟	2020	RC	546.2	

3. 棟ごとの整理

(1)事務棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務棟	2020	W	701.2	1	0	1

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	2	15	19	17	1
適合度②/①	0.20	0.60	0.70	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和62 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費					0.1	4.0		4.9	1.2	0.1	17.1
維持管理費		3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
撤去費											
合計		3.1	3.1	3.1	3.2	7.1	3.1	8.1	4.3	3.2	20.2
累計		3.1	6.2	9.3	12.5	19.6	22.7	30.8	35.1	38.3	58.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)検査棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	検査棟	2020	RC	546.2	1	0	1

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	2	16	20	17	1
適合度②/①	0.20	0.64	0.74	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年

※　（令和92 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費					0.1	3.1		3.9	1.0	0.1	13.3
維持管理費		2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4
撤去費											
合計		2.4	2.4	2.4	2.5	5.5	2.4	6.3	3.4	2.5	15.8
累計		2.4	4.9	7.3	9.8	15.3	17.7	24.0	27.4	29.8	45.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	37	施設名称	熊本県立清水ヶ丘学園
	所在地	熊本市北区打越町	施設管理所属	子ども家庭福祉課
	敷地面積	26,094.2 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	1,336.5 ㎡	用途地域	第一種中高層住居専用地域
施設の目的		生活指導等を要する児童へ必要な指導を行い、その自立を支援することを目的とする施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1979	SRC	626.0	
3	児童館	1979	SRC	710.5	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1979	SRC	626.0	2	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	19	15	1
適合度②/①	0.50	0.72	0.70	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※（令和51 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・R2年度に策定した「熊本県立清水が丘学園改築整備基本計画」に基づき、R2年度からR5年度にかけて設計、R6年度からR7年度にかけて工事を予定している。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用					375.6						
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		2.5		14.8		39.2				0.2	41.1
維持管理費		2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
撤去費											
合計		5.3	2.8	17.6	378.4	42.0	2.8	2.8	2.8	3.0	43.8
累計		5.3	8.1	25.7	404.1	446.0	448.8	451.6	454.4	457.3	501.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)児童館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	児童館	1979	SRC	710.5	2	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	15	16	16	1
適合度②/①	0.60	0.60	0.59	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和51 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・R2年度に策定した「熊本県立清水が丘学園改築整備基本計画」に基づき、R2年度からR4年度にかけて設計、R5年度に工事を予定している。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用					426.3						
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		2.8		13.6		32.4				0.6	42.3
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		6.0	3.2	16.7	429.5	35.6	3.2	3.2	3.2	3.8	45.5
累計		6.0	9.1	25.9	455.3	490.9	494.1	497.2	500.4	504.2	549.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	38	施設名称	精神保健福祉センター
	所在地	熊本市東区月出3丁目	施設管理所属	障がい者支援課
	敷地面積	4,440.4 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	1,737.3 ㎡	用途地域	準住居地域
施設の目的		こころの悩みや不安に関する相談、関係者の技術支援や研修を行う場		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1980	RC	1,436.1	
2	旧器楽練習棟	1980	RC	301.2	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1980	RC	1,436.1	2	0	41

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	21	18	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和52 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		170.9									
更新・修繕費		119.4		35.2		45.3			19.5	2.3	4.9
維持管理費		6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4
撤去費											
合計		296.7	6.4	41.6	6.4	51.7	6.4	6.4	25.9	8.7	11.3
累計		296.7	303.0	344.7	351.0	402.7	409.1	415.5	441.4	450.1	461.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）旧器楽練習棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	旧器楽練習棟	1980	RC	301.2	1	0	41

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	19	17	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和22 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・倉庫の用途に変更している。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		29.6		3.3		1.0			4.1	0.3	1.0
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		30.9	1.3	4.7	1.3	2.4	1.3	1.3	5.4	1.6	2.4
累計		30.9	32.3	36.9	38.3	40.6	42.0	43.3	48.7	50.4	52.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	39	施設名称	身体障害児者総合福祉センター
	所在地	熊本市東区長嶺南2丁目	施設管理所属	障がい者支援課
	敷地面積	14,491.0 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	3,997.7 ㎡	用途地域	準住居地域
施設の目的				

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	第1本館	1975	RC	3,017.4	
2	体育館	1975	RC	980.3	

3. 建物毎の概要等

（1）第1本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	第1本館	1975	RC	3,017.4	2	0	45

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	18	13	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数　60 年 ※　（令和17 年） ・長寿命化要件に該当するが、継続利用（90年）への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適正である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や駐車場に課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		59.5	146.6	107.4					12.8	38.5	3.0
維持管理費		13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
撤去費											
合計		72.9	160.0	120.8	13.4	13.4	13.4	13.4	26.2	51.9	16.4
累計		72.9	232.9	353.7	367.1	380.5	393.9	407.3	433.5	485.4	501.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	体育館	1975	RC	980.3	1	0	45

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	16	18	15	1
適合度②/①	0.60	0.64	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和47 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		116.7									
更新・修繕費		117.1				97.2	0.2		9.4		57.3
維持管理費		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
撤去費											
合計		238.2	4.4	4.4	4.4	101.6	4.6	4.4	13.8	4.4	61.6
累計		238.2	242.5	246.9	251.2	352.8	357.3	361.7	375.5	379.8	441.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	40	施設名称	こども総合療育センター
	所在地	宇城市松橋町豊福	施設管理所属	障がい者支援課
	敷地面積	53,560.4 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	8,002.2 ㎡	用途地域	
施設の目的		障がい及び障がいの疑いのある子どもの早期発見、早期治療を目指して、総合診断や療育の方向付けを行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	訓練棟	2004	RC	1,836.7	
2	生活・医療棟	2004	W	1,591.2	
3	母子棟	2004	RC	338.5	
4	厨房棟	2004	RC	393.6	
5	外来棟	2005	RC	2,869.4	
6	通園棟	2004	W	972.8	

3. 建物毎の概要等

（1）訓練棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	訓練棟	2004	RC	1,836.7	2	0	16

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	18	16	3
適合度②/①	0.30	0.76	0.67	0.57	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90 年 ※ （令和76 年） ・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				197.8	8.0	103.1			1.6	6.2	23.4
維持管理費		8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
撤去費											
合計		8.2	8.2	205.9	16.2	111.3	8.2	8.2	9.7	14.4	31.6
累計		8.2	16.3	222.2	238.4	349.7	357.9	366.0	375.8	390.1	421.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)生活・医療棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	生活・医療棟	2004	W	1,591.2	1	0	16

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	16	15	3
適合度②/①	0.30	0.68	0.59	0.54	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和46 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				75.4	84.3	89.3			1.4	5.4	
維持管理費		7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
撤去費											
合計		7.1	7.1	82.5	91.3	96.4	7.1	7.1	8.4	12.5	7.1
累計		7.1	14.1	96.6	188.0	284.4	291.4	298.5	306.9	319.4	326.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)母子棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	母子棟	2004	RC	338.5	1	0	16

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	20	16	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和46 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				16.0	17.9	19.0			0.3	1.1	
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		1.5	1.5	17.5	19.4	20.5	1.5	1.5	1.8	2.7	1.5
累計		1.5	3.0	20.6	40.0	60.5	62.0	63.5	65.3	67.9	69.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)厨房棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	厨房棟	2004	RC	393.6	1	0	16

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	18	13	2
適合度②/①	0.30	0.72	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　(令和46 年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度やアクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			6.0	12.7	20.8	22.1			0.3	1.3	
維持管理費		1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
撤去費											
合計		1.7	7.7	14.5	22.6	23.8	1.7	1.7	2.1	3.1	1.7
累計		1.7	9.4	23.9	46.5	70.3	72.1	73.8	75.9	79.0	80.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)外来棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	外来棟	2005	RC	2,869.4	2	0	15

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	18	16	3
適合度②/①	0.30	0.76	0.67	0.57	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　(令和77 年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度やアクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				308.9		173.7			2.4		46.3
維持管理費		12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7
撤去費											
合計		12.7	12.7	321.7	12.7	186.4	12.7	12.7	15.2	12.7	59.1
累計		12.7	25.5	347.2	359.9	546.3	559.1	571.8	587.0	599.8	658.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)通園棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	通園棟	2004	W	972.8	1	0	16

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	17	15	3
適合度②/①	0.30	0.72	0.63	0.54	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和46 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度やアクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				46.1	51.5	54.6			0.8	3.3	
維持管理費		4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
撤去費											
合計		4.3	4.3	50.4	55.8	58.9	4.3	4.3	5.1	7.6	4.3
累計		4.3	8.6	59.1	114.9	173.9	178.2	182.5	187.6	195.3	199.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	41	施設名称	環境センター
	所在地	水俣市明神町	施設管理所属	環境立県推進課
	敷地面積	30,007.0 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	1,655.1 ㎡	用途地域	第一種中高層住居専用地域
施設の目的		環境について正しい理解と認識を深めるための環境学習、情報提供の拠点		

位置図

写真

（出典：県観光連盟HP）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所棟	1993	RC	1,655.1	

3. 建物毎の概要等

（1）事務所棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所棟	1993	RC	1,655.1	3	0	28

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	17	22	21	0
適合度②/①	0.60	0.68	0.81	0.75	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和65 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和12（2030）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.8		143.0		84.3			18.8	4.6	13.0
維持管理費		7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
撤去費											
合計		46.1	7.4	150.3	7.4	91.6	7.4	7.4	26.1	11.9	20.3
累計		46.1	53.5	203.8	211.2	302.8	310.2	317.5	343.6	355.6	375.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	42	施設名称	小岱山国民休養地
	所在地	玉名市築地	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	借地	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	216.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		自然と人との調和を保ち、自然との交流を図るためのレクレーション施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	ビジターセンター	1985	RC	216.0	

3. 建物毎の概要等

(1)ビジターセンター

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	ビジターセンター	1985	RC	216.0	1	0	35

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	2	13	14	12	3
適合度②/①	0.20	0.52	0.52	0.43	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和27 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		15.4		22.4			0.2		2.8		0.7
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		16.4	1.0	23.4	1.0	1.0	1.1	1.0	3.7	1.0	1.7
累計		16.4	17.3	40.7	41.7	42.7	43.8	44.8	48.5	49.4	51.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	43	施設名称	坊中野営場
	所在地	阿蘇市黒川	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	借地	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	431.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		キャンプ場施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1995	RC	431.0	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1995	RC	431.0	2	0	25

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	12	15	12	2
適合度②/①	0.30	0.48	0.56	0.43	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60 年 ※ （令和37 年） ・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		37.1		15.6		58.7	0.1		3.0		2.4
維持管理費		1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
撤去費											
合計		39.0	1.9	17.5	1.9	60.6	2.0	1.9	5.0	1.9	4.3
累計		39.0	40.9	58.4	60.3	120.9	122.9	124.9	129.8	131.7	136.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	44	施設名称	鳥獣保護センター
	所在地	上益城郡御船町	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	2,856.3 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	996.3 ㎡	用途地域	
施設の目的		傷病鳥獣の保護及び回復を図る場		

※敷地は御船町より借地

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1981	RC	996.3	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1981	RC	996.3	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	13	14	12	4
適合度②/①	0.40	0.52	0.52	0.43	0.57

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和23 年）
	・長寿命化要件に該当するが、継続利用（90年）への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		125.2		74.0			5.7		7.0	1.7	
維持管理費		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
撤去費											
合計		129.6	4.4	78.4	4.4	4.4	10.2	4.4	11.5	6.2	4.4
累計		129.6	134.0	212.5	216.9	221.3	231.5	235.9	247.3	253.5	257.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	45	施設名称	富岡集団施設
	所在地	天草郡苓北町富岡	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	借地	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	568.2 ㎡	用途地域	
施設の目的		雲仙天草国立公園の内容を紹介するとともに天草地域の魅力ある自然景観、歴史、文化環境等についての情報を発信している。		

位置図

写真

（出典：県観光連盟HP）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	ビジターセンター	2004	W	568.2	

3. 建物毎の概要等

(1)ビジターセンター

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	ビジターセンター	2004	W	568.2	1	0	17

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	19	17	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.61	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和46 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		28.6		37.9	7.2	34.2	0.1		1.0	3.1	5.2
維持管理費		2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
撤去費											
合計		31.1	2.5	40.4	9.8	36.7	2.6	2.5	3.5	5.6	7.7
累計		31.1	33.6	74.1	83.8	120.5	123.1	125.7	129.2	134.8	142.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	46	施設名称	天草ビジターセンター
	所在地	上天草市松島町	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	借地	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	427.4 ㎡	用途地域	
施設の目的		雲仙天草国立公園を訪れた人に天草の自然や歴史等を紹介する施設。		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	ビジターセンター	1993	RC	427.4	

3. 建物毎の概要等

(1)ビジターセンター

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	ビジターセンター	1993	RC	427.4	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	19	17	14	2
適合度②/①	0.50	0.76	0.63	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和35 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や満足度に課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		0.7		80.8				1.4	1.8		5.4
維持管理費		1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
撤去費											
合計		2.6	1.9	82.7	1.9	1.9	1.9	3.3	3.7	1.9	7.3
累計		2.6	4.5	87.2	89.1	91.0	92.9	96.2	99.9	101.8	109.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	47	施設名称	熊本勤労者総合福祉センター
	所在地	熊本市中央区水前寺	施設管理所属	労働雇用創生課
	敷地面積	18,487.7 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	6,120.8 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		勤労者のための各種相談、研修、スポーツ、宿泊施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	テルサ本館	1996	SRC	6,120.8	

3. 建物毎の概要等

(1)テルサ本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	テルサ本館	1996	SRC	6,120.8	6	1	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	19	21	18	1
適合度②/①	0.50	0.76	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数　90 年 ※　（令和68 年） ・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		19.2	9.7	870.0			173.1		4.8	5.6	72.2
維持管理費		27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2
撤去費											
合計		46.4	36.9	897.2	27.2	27.2	200.3	27.2	32.0	32.8	99.4
累計		46.4	83.3	980.5	1,007.7	1,034.9	1,235.2	1,262.4	1,294.4	1,327.2	1,426.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	48	施設名称	高等技術専門校
	所在地	熊本市南区幸田	施設管理所属	労働雇用創生課
	敷地面積	20,095.9 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	4,658.8 ㎡	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的		各科目に応じた技術と知識についての訓練を行うことにより、有能な技術者の養成と職業人としての人間形成に努める。		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	体育館	1981	RC	720.4	
2	寄宿舎	1976	RC	833.8	
3	教室棟	1985	RC	1,351.6	
4	管理棟	1985	RC	1,753.0	

3. 建物毎の概要等

（1）体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	体育館	1981	RC	720.4	1	0	40

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	20	21	18	0
適合度②/①	0.50	0.80	0.78	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和53 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（職員満足度や道路アクセスに課題）

・令和2年度専門校改修計画に基づき、大規模改修を実施（R8年度予定）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		85.7									
更新・修繕費		98.4				0.4	4.5	2.1	3.6	0.9	0.0
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		187.3	3.2	3.2	3.2	3.6	7.7	5.3	6.8	4.1	3.2
累計		187.3	190.5	193.7	196.9	200.5	208.1	213.5	220.3	224.4	227.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）寄宿舎

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	寄宿舎	1976	RC	833.8	3	0	45

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	7	13	11	10	2
適合度②/①	0.70	0.52	0.41	0.36	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和18 年）

・既存の建物を取り壊し、新たな建物の建築を検討する必要がある（建替に当たっては、規模や施設の集約化等についても検討する必要がある。適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用する）。

・令和2年度専門校改修計画に基づき、建て替え実施（R4～R5年度予定）

（

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		500.3									
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			0.7	1.3		4.5	2.8	0.7	10.6		
維持管理費		3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
撤去費											
合計		504.0	4.4	5.1	3.7	8.2	6.5	4.4	14.3	3.7	3.7
累計		504.0	508.4	513.4	517.2	525.3	531.9	536.3	550.6	554.3	558.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（3）教室棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	教室棟	1985	RC	1,351.6	3	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	18	15	0
適合度②/①	0.50	0.64	0.67	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和57 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和4（2022）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

・令和2年度専門校改修計画に基づき、大規模改修を実施（R4～R5年度予定）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						160.8					
更新・修繕費		202.2		137.0		35.2	8.8		13.2		
維持管理費		6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
撤去費											
合計		208.2	6.0	143.0	6.0	202.1	14.8	6.0	19.3	6.0	6.0
累計		208.2	214.2	357.3	363.3	565.4	580.1	586.1	605.4	611.4	617.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（4）管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	管理棟	1985	RC	1,753.0	3	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	18	15	0
適合度②/①	0.50	0.64	0.67	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和57 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和4（2022）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・令和2年度専門校改修計画に基づき、大規模改修を実施（R4～R5年度予定）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						208.6					
更新・修繕費		184.5	9.8	291.4					28.5		
維持管理費		7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8
撤去費											
合計		192.3	17.6	299.2	7.8	216.4	7.8	7.8	36.3	7.8	7.8
累計		192.3	209.9	509.1	516.9	733.3	741.1	748.9	785.2	793.0	800.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	49	施設名称	技術短期大学校
	所在地	菊池郡菊陽町原水	施設管理所属	労働雇用創生課
	敷地面積	60,025.0 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	12,366.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		熊本県産業の高度化、高付加価値化に対応できる高度な技能および知識を兼ね備えた実践技術者を育成し、熊本県の経済社会の発展に寄与する		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本部棟	1997	RC	1,610.3	
2	学生ホール	1997	RC	296.0	
3	実習棟A	1997	RC	2,920.4	
4	実習棟B	1997	RC	2,034.4	
5	実習棟C	1997	RC	2,716.6	
6	講堂・体育館	1998	RC	1,044.0	
7	在職者セミナー棟	1998	RC	460.8	
8	映像システム技術科実習棟	2003	RC	1,283.6	

3. 建物毎の概要等

（1）本部棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本部棟	1997	RC	1,610.3	2	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	20	16	2
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年

※　（令和69 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		138.2		88.9			103.9		11.5		
維持管理費		7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
撤去費											
合計		145.4	7.2	96.1	7.2	7.2	111.1	7.2	18.7	7.2	7.2
累計		145.4	152.5	248.6	255.8	262.9	374.0	381.1	399.8	406.9	414.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）学生ホール

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	学生ホール	1997	RC	296.0	2	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	20	17	1
適合度②/①	0.30	0.68	0.74	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和39 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である.

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		25.4		9.0			26.5		2.1		
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		26.7	1.3	10.3	1.3	1.3	27.8	1.3	3.4	1.3	1.3
累計		26.7	28.0	38.3	39.6	40.9	68.7	70.1	73.5	74.8	76.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（3）実習棟A

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	実習棟A	1997	RC	2,920.4	3	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	20	16	2
適合度②/①	0.30	0.76	0.74	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和69 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		119.4		276.5		144.0	43.9		0.8		36.6
維持管理費		13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
撤去費											
合計		132.4	13.0	289.5	13.0	157.0	56.9	13.0	13.8	13.0	49.6
累計		132.4	145.4	434.9	447.8	604.8	661.7	674.7	688.5	701.4	751.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)実習棟B

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	実習棟B	1997	RC	2,034.4	3	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	20	17	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.74	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和69 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		62.9		129.0		77.5	45.0		11.2		8.6
維持管理費		9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
撤去費											
合計		72.0	9.0	138.1	9.0	86.5	54.1	9.0	20.3	9.0	17.6
累計		72.0	81.0	219.1	228.1	314.6	368.7	377.7	398.0	407.1	424.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)実習棟C

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	実習棟C	1997	RC	2,716.6	3	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	19	16	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.70	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和69 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		80.5		145.1			137.8		12.6		
維持管理費		12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1
撤去費											
合計		92.5	12.1	157.2	12.1	12.1	149.9	12.1	24.7	12.1	12.1
累計		92.5	104.6	261.8	273.8	285.9	435.8	447.8	472.5	484.6	496.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)講堂・体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	講堂・体育館	1998	RC	1,044.0	1	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	21	17	1
適合度②/①	0.30	0.68	0.78	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年

※　(令和70 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.2		140.9				55.3	17.0		
維持管理費		4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
撤去費											
合計		42.8	4.6	145.5	4.6	4.6	4.6	60.0	21.6	4.6	4.6
累計		42.8	47.5	193.0	197.6	202.2	206.9	266.8	288.5	293.1	297.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(7)在職者セミナー棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
7	在職者セミナー棟	1998	RC	460.8	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	21	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年

※　(令和40 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		15.5	6.3	37.3		0.5	0.1	35.8	3.2		0.0
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		17.5	8.4	39.4	2.0	2.6	2.1	37.9	5.3	2.0	2.1
累計		17.5	25.9	65.2	67.3	69.8	72.0	109.9	115.2	117.2	119.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（8）映像システム技術科実習棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
8	映像システム技術科実習棟	2003	RC	1,283.6	1	0	18

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	21	18	1
適合度②/①	0.30	0.68	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和75 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		6.4	51.6	84.8			2.5	17.6	0.1	9.0	
維持管理費		5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7
撤去費											
合計		12.1	57.3	90.5	5.7	5.7	8.2	23.3	5.8	14.8	5.7
累計		12.1	69.4	159.8	165.5	171.2	179.4	202.7	208.5	223.3	229.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	50	施設名称	産業技術センター
	所在地	熊本市東区東町	施設管理所属	産業支援課
	敷地面積	12,558.3 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	9,078.7 ㎡	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的		産業技術及び農林水産物の加工に関する研究開発、指導及び支援、並びに適正な計量の実施の確保を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	電子機械分館	1984	SRC	2,132.7	
2	精密機械分館	1985	RC	2,000.1	
3	実験棟1	2009	LS	1,127.3	
4	実験棟2	2010	LS	494.3	
5	本館	2010	RC	3,324.3	

3. 建物毎の概要等

（1）電子機械分館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	電子機械分館	1984	SRC	2,132.7	3	0	37

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	19	16	0
適合度②/①	0.50	0.68	0.70	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 90 年 ※ （令和56 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					253.8						
更新・修繕費		113.8		255.7			7.5		30.6	3.7	2.1
維持管理費		9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
撤去費											
合計		123.2	9.5	265.2	263.3	9.5	17.0	9.5	40.1	13.2	11.6
累計		123.2	132.7	397.9	661.2	670.6	687.6	697.1	737.2	750.4	761.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)精密機械分館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	精密機械分館	1985	RC	2,000.1	3	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	18	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和57 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和4(2022)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						238.0					
更新・修繕費		133.6		109.9			0.4		58.5	3.5	2.0
維持管理費		8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9
撤去費											
合計		142.5	8.9	118.8	8.9	246.9	9.2	8.9	67.4	12.4	10.9
累計		142.5	151.4	270.2	279.1	526.0	535.2	544.1	611.5	623.9	634.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)実験棟1

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	実験棟1	2009	LS	1,127.3	1	0	12

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	19	17	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和51 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				42.0	9.4	2.0			9.3	81.7	
維持管理費		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
撤去費											
合計		5.0	5.0	47.0	14.4	7.0	5.0	5.0	14.4	86.8	5.0
累計		5.0	10.0	57.0	71.4	78.3	83.3	88.4	102.7	189.5	194.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)実験棟2

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	実験棟2	2010	LS	494.3	1	0	11

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	21	18	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和52 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				16.1	2.7	4.1	0.9		8.3	3.2	3.9
維持管理費		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
撤去費											
合計		2.2	2.2	18.3	4.9	6.3	3.1	2.2	10.5	5.4	6.1
累計		2.2	4.4	22.7	27.6	33.9	36.9	39.1	49.6	55.0	61.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	本館	2010	RC	3,324.3	3	0	10

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	18	19	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.67	0.68	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和82 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				89.0	16.5	8.2	4.2		27.1		126.6
維持管理費		14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8
撤去費											
合計		14.8	14.8	103.8	31.2	23.0	19.0	14.8	41.8	14.8	141.4
累計		14.8	29.5	133.4	164.6	187.5	206.5	221.3	263.1	277.9	419.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	51	施設名称	産業技術センター（農産加工）
	所在地	熊本市東区東町	施設管理所属	産業支援課
	敷地面積	2,111.9 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	2,146.5 ㎡	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的		県行政の施策実施のための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	研究棟	1988	RC	2,146.5	

3. 建物毎の概要等

（1）研究棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	研究棟	1988	RC	2,146.5	4	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	17	13	2
適合度②/①	0.40	0.72	0.63	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和30 年）

・長寿命化要件に該当するが、継続利用（90年）への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度に課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		61.4		232.8					19.8	2.7	10.6
維持管理費		9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
撤去費											
合計		71.0	9.5	242.3	9.5	9.5	9.5	9.5	29.3	12.2	20.2
累計		71.0	80.5	322.8	332.4	341.9	351.5	361.0	390.3	402.5	422.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	52	施設名称	野外劇場アスペクタ
	所在地	阿蘇郡南阿蘇村	施設管理所属	観光企画課
	敷地面積	借地	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,720.3 ㎡	用途地域	
施設の目的		県民の文化施設として阿蘇南外輪山の大自然の中に設置した世界最大級の野外ステージ		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	野外コンサート場	1987	RC	2,720.3	

3. 建物毎の概要等

（1）野外コンサート場

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	野外コンサート場	1987	RC	2,720.3	2	0	33

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	12	19	14	0
適合度②/①	0.30	0.48	0.70	0.50	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和59 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和7（2025）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用								323.7			
更新・修繕費		373.7		163.5		134.1	0.8		19.2	4.8	46.2
維持管理費		12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1
撤去費											
合計		385.8	12.1	175.6	12.1	146.2	12.8	335.8	31.3	16.8	58.3
累計		385.8	397.9	573.4	585.5	731.8	744.6	1,080.4	1,111.7	1,128.5	1,186.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	53	施設名称	熊本産業展示場
	所在地	上益城郡益城町福富	施設管理所属	販路拡大ビジネス課
	敷地面積	121,229.2 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	19,759.2 ㎡	用途地域	
施設の目的		産業展示やイベント、ライブ、会議が行われるコンベンション施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	展示場	1998	RC	19,759.2	

3. 建物毎の概要等

（1）展示場

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	展示場	1998	RC	19,759.2	3	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	21	23	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.78	0.82	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和70 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				2,932.1	110.1				3.6	163.8	180.8
維持管理費		87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8
撤去費											
合計		87.8	87.8	3,019.9	197.9	87.8	87.8	87.8	91.3	251.5	268.6
累計		87.8	175.6	3,195.4	3,393.4	3,481.2	3,569.0	3,656.7	3,748.1	3,999.6	4,268.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	54	施設名称	県伝統工芸館
	所在地	熊本市中央区千葉城町	施設管理所属	販路拡大ビジネス課
	敷地面積	4,094.3 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	3,017.3 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		人々の暮らしと密接に結びつき、古くから使用されてきた熊本県の伝統工芸品を、展示販売しています。		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1982	RC	3,017.3	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1982	RC	3,017.3	2	1	39

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	20	19	14	3
適合度②/①	0.30	0.80	0.70	0.50	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和54 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や駐車場に課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		359.1									
更新・修繕費		61.0		274.1		169.4	10.2		5.5		38.5
維持管理費		13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
撤去費											
合計		433.5	13.4	287.5	13.4	182.8	23.6	13.4	18.9	13.4	51.9
累計		433.5	446.9	734.4	747.8	930.6	954.2	967.6	986.6	1,000.0	1,051.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

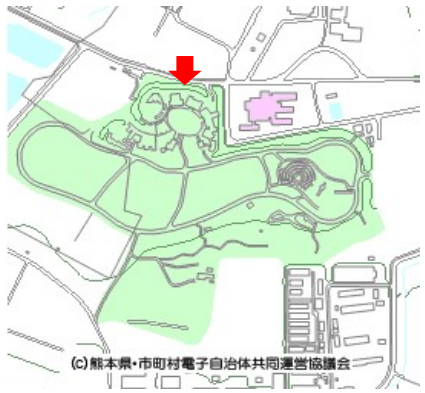
個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	55	施設名称	農業公園
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農林水産政策課
	敷地面積	279,058.9 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	3,709.4 ㎡	用途地域	
施設の目的	県民の農業理解を深め、また農業情報の発信や 自然や緑に親しむいこいの場である			

位置図



写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	棟名	建築年	構造	延床面積	備考
1	農業館	1991	RC	1,432.2	
2	管理事務所	1991	RC	290.7	
3	多目的ホール	1991	RC	450.6	
4	物産館	1991	RC	436.4	
5	和風レストラン	1991	RC	291.5	
6	会議棟	1991	RC	808.0	

3. 建物毎の概要等

（1）農業館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	農業館	1991	RC	1,432.2	2	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	16	16	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.59	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和63 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定ことが可能である。 ・令和6（2024）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・令和7（2025）年度に現有施設の保全を目的とした改修工事（電気設備、空調設備等）を実施予定。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		159.1		192.8	0.1		0.3		17.9	2.6	16.5
維持管理費		6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4
撤去費											
合計		165.5	6.4	199.1	6.5	6.4	6.6	6.4	24.3	9.0	22.9
累計		165.5	171.8	370.9	377.5	383.8	390.4	396.8	421.1	430.1	453.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）管理事務所

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	管理事務所	1991	RC	290.7	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	14	19	17	0
適合度②/①	0.60	0.56	0.70	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和33 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和4（2022）年度に現有施設の保全を目的とした改修工事（外壁、空調設備等）を実施予定。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		57.1		14.3	0.0		0.1		3.6	0.5	3.3
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		58.4	1.3	15.6	1.3	1.3	1.3	1.3	4.9	1.8	4.6
累計		58.4	59.7	75.3	76.6	77.9	79.2	80.5	85.5	87.3	91.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（3）多目的ホール

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	多目的ホール	1991	RC	450.6	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	21	18	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和33 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和5（2023）年度に現有施設の保全を目的とした改修工事（外部建具、空調設備等）を実施予定。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		61.1		32.3	0.0	22.5	0.1		3.2	0.8	2.5
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		63.1	2.0	34.3	2.0	24.5	2.1	2.0	5.2	2.8	4.5
累計		63.1	65.1	99.4	101.5	125.9	128.0	130.0	135.2	138.0	142.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)物産館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	物産館	1991	RC	436.4	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	16	15	2
適合度②/①	0.40	0.60	0.59	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和33 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和5(2023)年度に現有施設の保全を目的とした改修工事(外壁、空調設備等)を実施予定。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		59.5		52.8	0.0		0.1		5.5	0.8	
維持管理費		1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
撤去費											
合計		61.4	1.9	54.7	2.0	1.9	2.0	1.9	7.4	2.7	1.9
累計		61.4	63.3	118.1	120.0	122.0	124.0	125.9	133.3	136.1	138.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)和風レストラン

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	和風レストラン	1991	RC	291.5	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	19	15	0
適合度②/①	0.40	0.60	0.70	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和33 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・ただし、現在和風レストランとしての機能は果たしていないため、転用及び廃止も視野に今後の利用方法を検討する。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		39.7		35.3	0.0		0.1		3.7	0.5	
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		41.0	1.3	36.5	1.3	1.3	1.3	1.3	4.9	1.8	1.3
累計		41.0	42.3	78.9	80.2	81.5	82.8	84.1	89.1	90.9	92.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（6）会議棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	会議棟	1991	RC	808.0	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	20	16	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和63 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和5（2023）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・令和6（2024）年度に現有施設の保全を目的とした改修工事（外部シーリング、空調設備等）を実施予定。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		88.4		119.4	0.1		0.1		4.4	1.5	5.7
維持管理費		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
撤去費											
合計		92.0	3.6	123.0	3.7	3.6	3.7	3.6	8.0	5.1	9.3
累計		92.0	95.6	218.6	222.2	225.8	229.6	233.2	241.2	246.3	255.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	56	施設名称	農業研究センター
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	1,033,354.8 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	7,582.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		新品種の育成、新たな栽培・飼養管理技術の確立等の研究を中心に、本県の農業分野における技術革新の拠点・農業情報の発信基地としての役割を果たす。		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1989	RC	7,582.1	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1989	RC	7,582.1	3	1	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	14	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和61 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和8（2026）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度に課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										902.3	
更新・修繕費		367.9		1,284.8					162.6		
維持管理費		33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7
撤去費											
合計		401.6	33.7	1,318.5	33.7	33.7	33.7	33.7	196.3	936.0	33.7
累計		401.6	435.3	1,753.8	1,787.5	1,821.2	1,854.8	1,888.5	2,084.8	3,020.8	3,054.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	57	施設名称	茶業研究所
	所在地	上益城郡御船町	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	71,232.0 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	922.8 ㎡	用途地域	
施設の目的		中山間地帯を中心に行われている茶業についての実証試験研究を行っている。		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理実験棟	1989	RC	922.8	

3. 建物毎の概要等

（1）管理実験棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理実験棟	1989	RC	922.8	2	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	2	15	17	12	2
適合度②/①	0.20	0.60	0.63	0.43	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和31 年）
	・長寿命化要件に該当するが、継続利用（90年）への適合性が低いため、適切な保全を行いながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		56.1	49.5	52.6		80.3	0.3		5.1		1.6
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		60.2	53.6	56.7	4.1	84.4	4.4	4.1	9.2	4.1	5.7
累計		60.2	113.7	170.4	174.5	258.9	263.2	267.3	276.5	280.6	286.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	58	施設名称	アグリシステム総合研究所
	所在地	八代市鏡町	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	46,917.7 ㎡	都市計画区域	その他の区域
	延床面積	2,618.5 ㎡	用途地域	
施設の目的	いぐさの品種育成や栽培加工技術の改善及びアグリビジネスへの支援			

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館実験棟	1971	S	693.5	
2	研修館	1993	RC	510.0	
3	アグリビジネスセンター	2015	W	1,134.0	
4	長期貯蔵技術研究棟	2020	S	281.0	

3. 建物毎の概要等

（1）本館実験棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館実験棟	1971	S	693.5	1	0	50

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	6	17	20	16	1
適合度②/①	0.60	0.68	0.74	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和43 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		82.5									
更新・修繕費		31.8	14.5	21.0		83.9	0.1		5.0	28.0	5.0
維持管理費		3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
撤去費											
合計		117.4	17.6	24.1	3.1	86.9	3.2	3.1	8.0	31.0	8.1
累計		117.4	135.0	159.1	162.2	249.1	252.3	255.4	263.4	294.5	302.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)研修館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	研修館	1993	RC	510.0	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	19	16	0
適合度②/①	0.50	0.68	0.70	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和65 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		44.1		17.5		15.6			6.9		1.7
維持管理費		2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
撤去費											
合計		46.4	2.3	19.7	2.3	17.8	2.3	2.3	9.2	2.3	4.0
累計		46.4	48.7	68.4	70.7	88.5	90.8	93.0	102.3	104.5	108.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)アグリビジネスセンター

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	アグリビジネスセンター	2015	W	1,134.0	2	0	6

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	13	17	17	0
適合度②/①	0.40	0.52	0.63	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和57 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			8.0	2.0		143.7				8.0	15.7
維持管理費		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
撤去費											
合計		5.0	13.0	7.0	5.0	148.8	5.0	5.0	5.0	13.0	20.8
累計		5.0	18.1	25.1	30.1	178.9	183.9	189.0	194.0	207.0	227.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)長期貯蔵技術研究棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	長期貯蔵技術研究棟	2020	S	281.0	1	0	1

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	23	18	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.85	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和62 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費						2.2		2.7	0.7		9.3
維持管理費		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
撤去費											
合計		1.2	1.2	1.2	1.2	3.4	1.2	3.9	1.9	1.2	10.6
累計		1.2	2.5	3.7	5.0	8.4	9.7	13.6	15.5	16.8	27.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	59	施設名称	果樹研究所
	所在地	宇城市松橋町豊福	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	241,926.9 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	2,571.9 ㎡	用途地域	
施設の目的		新しい時代の要請に対応できる、優れた果樹品種の選抜・育成や美味しい果実の安定生産を目指した技術開発を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1972	RC	1,994.8	
2	作業室棟	1972	S	240.3	
3	研修館	1974	S	336.8	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1972	RC	1,994.8	3	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	18	15	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 90 年 ※ （令和44 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		73.6		13.8			0.4		18.9	3.5	30.1
維持管理費		8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9
撤去費											
合計		82.5	8.9	22.6	8.9	8.9	9.2	8.9	27.8	12.4	39.0
累計		82.5	91.4	114.0	122.9	131.7	140.9	149.8	177.6	189.9	228.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)作業室棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	作業室棟	1972	S	240.3	1	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	12	19	14	1
適合度②/①	0.40	0.48	0.70	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和14 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和9(2027)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		27.8					1.4		1.8	0.4	
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		28.9	1.1	1.1	1.1	1.1	2.5	1.1	2.9	1.5	1.1
累計		28.9	29.9	31.0	32.1	33.1	35.6	36.7	39.6	41.0	42.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)研修館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	研修館	1974	S	336.8	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	12	19	14	0
適合度②/①	0.30	0.48	0.70	0.50	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和16 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和12(2030)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		40.7					2.3	0.1	3.2		
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		42.2	1.5	1.5	1.5	1.5	3.7	1.6	4.7	1.5	1.5
累計		42.2	43.7	45.2	46.7	48.2	52.0	53.6	58.3	59.8	61.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	60	施設名称	草地畜産研究所
	所在地	阿蘇市西湯浦	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	2,343,437.0 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	1,371.7 ㎡	用途地域	
施設の目的		スマート農業技術を活用した草地及び放牧牛の管理技術、草地を高度に利用した肉用牛及び牛肉生産技術、農用馬の安全で省力的な繁殖管理技術に関する研究を行っている		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	体育館	1993	S	440.9	
2	放牧技術研究棟	2015	RC	678.0	
3	肉用牛等繁殖技術研修施設	2019	S	252.8	

3. 建物毎の概要等

（1）体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	体育館	1993	S	440.9	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	19	18	0
適合度②/①	0.30	0.72	0.70	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和35 年）
	・適切な保全を行いながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.4		83.8			0.1		7.1		
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		40.3	2.0	85.8	2.0	2.0	2.0	2.0	9.1	2.0	2.0
累計		40.3	42.3	128.0	130.0	132.0	134.0	136.0	145.0	147.0	148.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)放牧技術研究棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	放牧技術研究棟	2015	RC	678.0	1	0	5

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	15	22	17	0
適合度②/①	0.30	0.60	0.81	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年

※　(令和87 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		85.8		49.1		6.0	3.8				10.4
維持管理費		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
撤去費											
合計		88.8	3.0	52.1	3.0	9.0	6.8	3.0	3.0	3.0	13.4
累計		88.8	91.9	144.0	147.0	156.0	162.7	165.8	168.8	171.8	185.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)肉用牛等繁殖技術研修施設

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	肉用牛等繁殖技術研修施設	2019	S	252.8	1	0	2

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	13	20	15	0
適合度②/①	0.30	0.52	0.74	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年

※　(令和61 年)

・適切な保全を行いながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費											
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
累計		1.1	2.2	3.4	4.5	5.6	6.7	7.9	9.0	10.1	11.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	61	施設名称	高原農業研究所
	所在地	阿蘇市一の宮町宮地	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	43,166.0 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	348.7 ㎡	用途地域	
施設の目的		熊本県の中山間地域における農業振興作物の実証的試験研究を行っている		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所棟	1968	SRC	348.7	

3. 建物毎の概要等

(1)事務所棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所棟	1968	SRC	348.7	1	0	53

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	17	16	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.63	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和10 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和5（2023）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用									209.2		
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		7.7		5.0			0.1				
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		9.3	1.5	6.6	1.5	1.5	1.6	1.5	210.8	1.5	1.5
累計		9.3	10.8	17.4	19.0	20.5	22.2	23.7	234.5	236.0	237.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	62	施設名称	天草農業研究所
	所在地	天草市本渡町	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	35,434.6 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	1,058.9 ㎡	用途地域	第一種中高層住居専用地域
施設の目的		暖地・海洋性気候に属する天草地方に適した農業振興作物の実証的試験研究を行っている		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所棟	1965	RC	426.9	
2	農舎棟（果樹部）	1994	S	312.0	
3	農舎棟（作物部）	1994	S	320.0	

3. 建物毎の概要等

（1）事務所棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所棟	1965	RC	426.9	2	0	55

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	15	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和7 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用						256.1					
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		5.5		6.7							21.2
維持管理費		1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
撤去費											
合計		7.4	1.9	8.6	1.9	258.0	1.9	1.9	1.9	1.9	23.1
累計		7.4	9.3	17.8	19.7	277.8	279.7	281.6	283.5	285.4	308.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)農舎棟(果樹部)

①概要

面積:㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	農舎棟(果樹部)	1994	S	312.0	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	20	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60 年
※ (令和36 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		14.3		23.8	24.3		0.1		2.2	1.7	
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		15.6	1.4	25.2	25.7	1.4	1.5	1.4	3.6	3.1	1.4
累計		15.6	17.0	42.3	67.9	69.3	70.8	72.2	75.8	78.8	80.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)農舎棟(作物部)

①概要

面積:㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	農舎棟(作物部)	1994	S	320.0	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	21	17	1
適合度②/①	0.30	0.76	0.78	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60 年
※ (令和36 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		14.6		20.8	28.6		0.1		2.3	1.8	
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		16.0	1.4	22.2	30.0	1.4	1.5	1.4	3.7	3.2	1.4
累計		16.0	17.5	39.7	69.7	71.1	72.6	74.0	77.7	80.9	82.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	63	施設名称	球磨農業研究所
	所在地	球磨郡あさぎり町	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	107,467.8 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	652.4 ㎡	用途地域	
施設の目的		球磨地域特有の気象、土地、経営条件に適した茶、落葉果樹の優良品種選定と、その特性に合う高品質安定多収生産のための栽培技術を研究しています		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1968	CB	349.0	
2	農民研修館	1967	CB	303.4	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1968	CB	349.0	1	0	53

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	15	13	12	4
適合度②/①	0.30	0.60	0.48	0.43	0.57

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和10 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和5（2023）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用									209.4		
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		9.5		2.8		0.6	2.0				
維持管理費		1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
撤去費											
合計		11.0	1.6	4.3	1.6	2.1	3.6	1.6	211.0	1.6	1.6
累計		11.0	12.6	16.9	18.4	20.5	24.1	25.7	236.6	238.2	239.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）農民研修館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	農民研修館	1967	CB	303.4	1	0	54

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	15	14	11	2
適合度②/①	0.50	0.60	0.52	0.39	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和9 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和4（2022）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用								182.0			
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		6.7		2.4		1.7	0.1				3.5
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		8.1	1.3	3.8	1.3	3.0	1.4	183.4	1.3	1.3	4.8
累計		8.1	9.4	13.2	14.6	17.6	19.0	202.4	203.7	205.1	209.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	64	施設名称	農産園芸研究所
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	農研センター内	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	3,416.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		水稲・麦・大豆類、野菜・花きなどを対象に、品種・品目の選抜育成、栽培法の確立、低コスト安定多収技術の組立実証などについて試験研究を行っている		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	作物水田棟	1989	S	464.2	
2	作物原種棟	1989	S	650.4	
3	畑作生物資源棟	1989	S	369.6	
4	野菜栽培棟	1989	S	507.6	
5	花き野菜品種棟	1989	S	496.0	
6	現業職員休憩室	1989	S	214.2	
7	試験蚕室棟	1988	S	714.0	

3. 建物毎の概要等

（1）作物水田棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	作物水田棟	1989	S	464.2	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	15	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和31 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		28.0		63.7			0.1		3.3	0.8	28.2
維持管理費		2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
撤去費											
合計		30.0	2.1	65.8	2.1	2.1	2.2	2.1	5.3	2.9	30.3
累計		30.0	32.1	97.9	99.9	102.0	104.2	106.2	111.6	114.4	144.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)作物原種棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	作物原種棟	1989	S	650.4	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	21	16	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和61 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										77.4	
更新・修繕費		39.2		89.2			0.2		4.6	1.1	39.6
維持管理費		2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
撤去費											
合計		42.1	2.9	92.1	2.9	2.9	3.1	2.9	7.5	81.4	42.4
累計		42.1	45.0	137.1	140.0	142.9	146.0	148.8	156.3	237.7	280.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)畑作生物資源棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	畑作生物資源棟	1989	S	369.6	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	20	16	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和31 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		22.3		28.5			0.1		2.6	1.3	22.5
維持管理費		1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
撤去費											
合計		23.9	1.6	30.1	1.6	1.6	1.7	1.6	4.2	2.9	24.1
累計		23.9	25.6	55.7	57.3	59.0	60.7	62.4	66.6	69.5	93.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)野菜栽培棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	野菜栽培棟	1989	S	507.6	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	21	17	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和61 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										60.4	
更新・修繕費		30.6		39.1			0.1		3.6	31.4	30.9
維持管理費		2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
撤去費											
合計		32.8	2.3	41.4	2.3	2.3	2.4	2.3	5.8	94.1	33.1
累計		32.8	35.1	76.5	78.7	81.0	83.4	85.7	91.5	185.5	218.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)花き野菜品種棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	花き野菜品種棟	1989	S	496.0	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	20	15	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和31 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		49.9		24.0			0.1		3.5	1.7	24.5
維持管理費		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
撤去費											
合計		52.1	2.2	26.2	2.2	2.2	2.3	2.2	5.7	3.9	26.7
累計		52.1	54.3	80.5	82.7	84.9	87.2	89.4	95.1	99.0	125.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)現業職員休憩室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	現業職員休憩室	1989	S	214.2	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	16	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和31 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		13.9		18.0			0.1		1.5	0.7	10.6
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		14.8	1.0	19.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.5	1.7	11.5
累計		14.8	15.8	34.7	35.7	36.6	37.7	38.6	41.1	42.8	54.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(7)試験蚕室棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
7	試験蚕室棟	1988	S	714.0	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	20	15	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和60 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用									85.0		
更新・修繕費		43.0		55.1		42.9	0.2		5.0	1.2	43.4
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		46.2	3.2	58.2	3.2	46.1	3.4	3.2	93.2	4.4	46.6
累計		46.2	49.4	107.6	110.8	156.9	160.2	163.4	256.6	261.0	307.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	65	施設名称	畜産研究所
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	農研センター内	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	405.5 ㎡	用途地域	
施設の目的		肉用牛、乳用牛の大家畜、豚・鶏の中小家畜を対象とした育種改良、飼養管理技術の開発、受精卵移植などの先端技術の開発応用、未利用資源の飼料化を含む自給飼料の安定生産技術の確立や畜産環境の保全に関する試験研究を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	繁殖センター試験研究棟	1987	RC	405.5	

3. 建物毎の概要等

（1）繁殖センター試験研究棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	繁殖センター試験研究棟	1987	RC	405.5	1	0	33

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	19	21	17	0
適合度②/①	0.50	0.76	0.78	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和29 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		16.9		21.6			0.0	0.8	2.0	0.5	22.2
維持管理費		1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
撤去費											
合計		18.7	1.8	23.4	1.8	1.8	1.9	2.6	3.8	2.3	24.0
累計		18.7	20.5	43.9	45.7	47.5	49.4	51.9	55.8	58.1	82.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	66	施設名称	生産環境研究所
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	農研センター内	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	702.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		農作物の安全性や土壌、病害虫、施設など生産環境にまつわる様々な技術の開発、省力・低コスト化の組立実証、土地基盤の整備などについて試験研究を行っています。		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	環境棟	1989	S	702.0	

3. 建物毎の概要等

（1）環境棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	環境棟	1989	S	702.0	1	0	32

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	16	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和61 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和8（2026）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										83.5	
更新・修繕費		69.8	5.4	21.2			0.1		5.0	43.4	42.7
維持管理費		3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
撤去費											
合計		72.9	8.5	24.4	3.1	3.1	3.2	3.1	8.1	130.1	45.8
累計		72.9	81.4	105.8	108.9	112.0	115.3	118.4	126.5	256.6	302.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	67	施設名称	中央家畜保健衛生所
	所在地	熊本市南区城南町	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	15,542.47 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,807.3 ㎡	用途地域	
施設の目的		家畜伝染病の予防や精密検査、生産性向上等の各種指導を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	2015	W	1,567.3	
2	防疫資材等保管倉庫	2012	W	240.0	

3. 建物毎の概要等

(1)本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	2015	W	1,567.3	1	0	5

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	19	19	2
適合度②/①	0.30	0.64	0.70	0.68	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和57 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			11.0	2.7		129.9				11.0	21.7
維持管理費		7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
撤去費											
合計		7.0	18.0	9.7	7.0	136.9	7.0	7.0	7.0	18.0	28.7
累計		7.0	25.0	34.7	41.6	178.5	185.5	192.5	199.4	217.4	246.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)防疫資材等保管倉庫

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	防疫資材等保管倉庫	2012	W	240.0	1	0	8

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	22	19	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.81	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和54 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			5.3			14.6	1.7	3.3	0.4		
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		1.1	6.4	1.1	1.1	15.6	2.8	4.4	1.5	1.1	1.1
累計		1.1	7.5	8.5	9.6	25.2	28.0	32.4	33.9	34.9	36.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	68	施設名称	城北家畜保健衛生所
	所在地	山鹿市鹿本町	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	2,837.1 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	717.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		家畜の伝染病予防や農家の経営安定のための各種指導を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟及び防疫衛生棟	2017	W、RC	717.0	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟及び防疫衛生棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟及び防疫衛生棟	2017	W、RC	717.0	1	0	3

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	15	19	19	1
適合度②/①	0.50	0.60	0.70	0.68	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和59 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			4.1		5.1	44.4		16.3			
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		3.2	7.3	3.2	8.2	47.5	3.2	19.5	3.2	3.2	3.2
累計		3.2	10.5	13.7	21.9	69.5	72.6	92.2	95.4	98.5	101.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	69	施設名称	阿蘇家畜保健衛生所
	所在地	阿蘇市一の宮町宮地	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	2,755.5 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	683.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		家畜の伝染病予防や農家の経営安定のための各種指導を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟及び防疫衛生棟	2019	W	683.0	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟及び防疫衛生棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟及び防疫衛生棟	2019	W	683.0	1	0	1

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	19	16	2
適合度②/①	0.40	0.68	0.70	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和61 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				18.3	44.9	0.1		1.2		44.8	13.4
維持管理費		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
撤去費											
合計		3.0	3.0	21.4	47.9	3.1	3.0	4.2	3.0	47.8	16.5
累計		3.0	6.1	27.4	75.4	78.5	81.5	85.8	88.8	136.6	153.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	70	施設名称	城南家畜保健衛生所
	所在地	人吉市蟹作町一本杉	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	2,970.9 ㎡	都市計画区域	
	延床面積	㎡	用途地域	
施設の目的		家畜の伝染病予防や農家の経営安定のための各種指導を行う		

位置図

（出典：国土地理院）

写真

（出典：国土地理院）

2. 棟名称一覧

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館				

3. 棟ごとの整理

（1）行政棟本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館						

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②					
適合度②/①	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	―
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　　年
※　（令和12 年）

・令和3年4月に新事務所竣工予定。

※施設アセスメント調査未実施

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	71	施設名称	天草家畜保健衛生所
	所在地	天草市本渡町本戸馬場	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	3,131.6 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	209.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		家畜の伝染病予防や農家の経営安定のための各種指導を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 棟名称一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1970	CB	209.1	

3. 棟ごとの整理

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1970	CB	209.1	1	0	50

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②					
適合度②/①	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	―
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和12 年）

・令和3年度で既存建物を解体し、建替に着手する。

・新設建物については、令和4年度末完成予定。
（主構造：木造、延面積:824.3㎡）

（アセスメント調査は未実施）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	72	施設名称	畜産研究所精液処理施設
	所在地	合志市栄	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	12,030.0 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	364.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		県有種雄牛の飼養管理及び凍結精液の備蓄・供給等の育種改良関連業務を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	精液処理施設	1995	S	364.0	

3. 建物毎の概要等

(1)精液処理施設

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	精液処理施設	1995	S	364.0	1	0	26

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	18	15	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和37 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用地に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		23.5		60.8		9.7	0.1		4.6		
維持管理費		1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
撤去費											
合計		25.1	1.6	62.4	1.6	11.4	1.7	1.6	6.2	1.6	1.6
累計		25.1	26.8	89.1	90.8	102.1	103.8	105.4	111.6	113.2	114.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	73	施設名称	農業大学校
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農地・担い手支援課
	敷地面積	289,635.6 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	12,317.6 ㎡	用途地域	
施設の目的		次代の本県農業を担う優れた農業経営者の育成を図る		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1978	RC	748.0	
2	調理、機械棟	1978	RC	290.0	
3	研究・講義棟	1978	RC	2,291.0	
4	就農支援研修施設	1978	RC	921.5	
5	体育館	1979	RC	922.9	
6	畜産講義棟	1979	RC	261.0	
7	学生寮	2000	W	5,297.9	
8	研修交流館	2019	W	1,585.3	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1978	RC	748.0	1	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	17	16	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.63	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和50 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3年（2021年）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度に、研究・講義棟改修工事に伴う電気設備の改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		89.0									
更新・修繕費		29.9	30.2	22.6		22.1	0.1		0.1	1.3	36.9
維持管理費		3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
撤去費											
合計		122.2	33.5	26.0	3.3	25.4	3.5	3.3	3.4	4.6	40.2
累計		122.2	155.7	181.6	185.0	210.4	213.9	217.2	220.6	225.2	265.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)調理、機械棟

①概要

面積:㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	調理、機械棟	1978	RC	290.0	2	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	17	15	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.63	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和20 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度に、研究・講義棟改修工事に伴う電気設備及び機械設備の改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		16.5		21.6			0.1		1.9		2.8
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		17.8	1.3	22.9	1.3	1.3	1.3	1.3	3.2	1.3	4.1
累計		17.8	19.1	42.0	43.3	44.5	45.9	47.2	50.3	51.6	55.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)研究・講義棟

①概要

面積:㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	研究・講義棟	1978	RC	2,291.0	2	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	19	17	0
適合度②/①	0.50	0.64	0.70	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和50 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3年(2021年)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

・農業大学校保全計画に沿って、令和3年度に、令和4年度実施の改修工事に伴い仮設校舎をリースする。

・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度に、建具、電気設備、空調設備及び機械設備の改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		272.6									
更新・修繕費		119.9		287.7					15.3	12.4	22.0
維持管理費		10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2
撤去費											
合計		402.7	10.2	297.9	10.2	10.2	10.2	10.2	25.5	22.6	32.2
累計		402.7	412.9	710.8	721.0	731.1	741.3	751.5	777.0	799.6	831.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)就農支援研修施設

①概要

面積:㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	就農支援研修施設	1978	RC	921.5	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	19	15	1
適合度②/①	0.50	0.64	0.70	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和50 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年にすることが可能である。

・令和3年(2021年)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

・農業大学校保全計画に沿って、令和12年度に、屋上防水、空調の改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		109.7									
更新・修繕費		36.8		42.4		123.5	6.7		0.1	1.6	6.0
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		150.5	4.1	46.5	4.1	127.6	10.8	4.1	4.2	5.7	10.0
累計		150.5	154.6	201.1	205.2	332.8	343.5	347.6	351.8	357.5	367.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)体育館

①概要

面積:㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	体育館	1979	RC	922.9	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	14	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.50	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和51 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3年(2021年)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度にトイレの改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		109.8									
更新・修繕費		75.5		111.9			0.1		10.2	1.2	11.6
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		189.5	4.1	116.0	4.1	4.1	4.2	4.1	14.3	5.3	15.7
累計		189.5	193.6	309.6	313.7	317.8	322.0	326.1	340.4	345.7	361.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)畜産講義棟

①概要

面積:㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	畜産講義棟	1979	RC	261.0	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	6	16	16	13	1
適合度②/①	0.60	0.64	0.59	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和21 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・農業大学校保全計画に沿って、令和5年度に、電気、機械の改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		13.9	6.8	10.5	1.0	2.1	0.1		2.5		1.7
維持管理費		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
撤去費											
合計		15.0	8.0	11.7	2.2	3.3	1.2	1.2	3.7	1.2	2.9
累計		15.0	23.0	34.7	36.8	40.1	41.3	42.5	46.1	47.3	50.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(7)学生寮

①概要

面積:㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
7	学生寮	2000	W	5,297.9	2	0	21

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	17	18	13	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.67	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和42 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・農業大学校保全計画に沿って、令和3年度に外壁改修工事を行う。

・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度に空調設備及び給湯設備の改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		508.5		222.8		297.4	4.5		85.5		61.9
維持管理費		23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5
撤去費											
合計		532.0	23.5	246.4	23.5	321.0	28.0	23.5	109.1	23.5	85.5
累計		532.0	555.6	801.9	825.5	1,146.5	1,174.5	1,198.0	1,307.1	1,330.6	1,416.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（8）研修交流館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
8	研修交流館	2019	W	1,585.3	2	0	2

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	21	22	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.78	0.79	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和61 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				7.6	5.7		7.0	1.7		23.9	
維持管理費		7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
撤去費											
合計		7.0	7.0	14.7	12.8	7.0	14.1	8.8	7.0	30.9	7.0
累計		7.0	14.1	28.8	41.6	48.6	62.7	71.5	78.5	109.5	116.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	74	施設名称	林業研究・研修センター
	所在地	熊本市中央区黒髪	施設管理所属	森林整備課
	敷地面積	33,150.9 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,626.8 ㎡	用途地域	
施設の目的		育林・森林環境や林産加工に関する研究、技術の普及支援や各種相談に対応		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1978	RC	1,386.8	
2	木材研究棟	1987	W	240.0	

3. 建物毎の概要等

(1)本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1978	RC	1,386.8	3	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	17	15	3
適合度②/①	0.30	0.68	0.63	0.54	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和50 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		165.0									
更新・修繕費		36.4		119.0	0.1	43.6	0.2	2.6	9.0	1.8	
維持管理費		6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
撤去費											
合計		207.6	6.2	125.2	6.2	49.7	6.3	8.8	15.2	8.0	6.2
累計		207.6	213.7	338.9	345.1	394.9	401.2	410.0	425.2	433.2	439.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)木材研究棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	木材研究棟	1987	W	240.0	1	0	33

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	13	16	15	2
適合度②/①	0.30	0.52	0.59	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和29 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		39.7		16.4		5.9	0.1		3.0	0.4	
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		40.7	1.1	17.5	1.1	7.0	1.1	1.1	4.1	1.5	1.1
累計		40.7	41.8	59.3	60.4	67.3	68.5	69.5	73.6	75.1	76.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	75	施設名称	林業技術研修センター
	所在地	熊本市中央区黒髪	施設管理所属	森林整備課
	敷地面積	8,849.1 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,262.3 ㎡	用途地域	
施設の目的		林業研究・研修センターにおいて行う研修及び講習の場		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	研修棟	1976	RC	519.5	
2	林業技術研修センター2号館	2019	W	742.8	

3. 建物毎の概要等

（1）研修棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	研修棟	1976	RC	519.5	2	0	44

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	14	17	14	2
適合度②/①	0.40	0.56	0.63	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和48 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		23.8									
更新・修繕費		15.4		14.5	0.0		0.0	0.4	2.2	0.3	
維持管理費		2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
撤去費											
合計		41.5	2.3	16.8	2.3	2.3	2.3	2.7	4.5	2.6	2.3
累計		41.5	43.8	60.6	62.9	65.2	67.5	70.2	74.7	77.3	79.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）林業技術研修センター2号館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	林業技術研修センター2号館	2019	W	742.8	1	0	2

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	22	18	0
適合度②/①	0.30	0.64	0.81	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和61 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費					4.3		5.2	1.3		18.2	
維持管理費		3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
撤去費											
合計		3.3	3.3	3.3	7.6	3.3	8.5	4.6	3.3	21.5	3.3
累計		3.3	6.6	9.9	17.5	20.8	29.3	33.9	37.2	58.7	62.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	76	施設名称	水産研究センター
	所在地	上天草市大矢野中	施設管理所属	水産振興課
	敷地面積	29,778.3 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	5,749.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		水産業に関する試験研究を総合的に行い水産業の振興に資する		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1990	RC	5,749.0	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1990	RC	5,749.0	2	0	31

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	18	14	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.67	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和62 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和9（2027）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											684.1
更新・修繕費		267.6	76.5	842.9			0.6	49.7	73.0		15.7
維持管理費		25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5
撤去費											
合計		293.1	102.0	868.5	25.5	25.5	26.1	75.2	98.6	25.5	725.4
累計		293.1	395.1	1,263.6	1,289.1	1,314.7	1,340.8	1,416.0	1,514.6	1,540.1	2,265.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	77	施設名称	牛深種苗生産施設
	所在地	天草市牛深町	施設管理所属	水産振興課
	敷地面積	17,114.8 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	544.7 ㎡	用途地域	
施設の目的		水産動植物を種苗生産・育成・配付を行いその放流効果を検証して啓発・普及することで、県民への水産物の安定供給と海洋環境の保全に取り組む		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1977	RC	544.7	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1977	RC	544.7	2	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	13	12	3
適合度②/①	0.50	0.64	0.48	0.43	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和19 年）
	・長寿命化要件に該当するが、継続利用（90年）への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		32.8	35.4	4.5		2.8	0.2		6.8	1.0	
維持管理費		2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4
撤去費											
合計		35.2	37.8	6.9	2.4	5.2	2.6	2.4	9.2	3.4	2.4
累計		35.2	73.0	79.9	82.3	87.5	90.1	92.5	101.8	105.2	107.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	78	施設名称	大矢野種苗生産施設
	所在地	上天草市大矢野中	施設管理所属	水産振興課
	敷地面積	31,984.7 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	214.7 ㎡	用途地域	
施設の目的		水産動植物を種苗生産・育成・配付を行いその放流効果を検証して啓発・普及することで、県民への水産物の安定供給と海洋環境の保全に取り組む		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1990	LS	214.7	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1990	LS	214.7	1	0	31

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	16	15	2
適合度②/①	0.40	0.72	0.59	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和32 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		4.9	11.3	23.2		1.0	0.0		1.2	1.5	0.4
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		5.8	12.2	24.1	1.0	1.9	1.0	1.0	2.2	2.5	1.3
累計		5.8	18.1	42.2	43.1	45.1	46.0	47.0	49.2	51.6	52.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	79	施設名称	漁業取締事務所
	所在地	宇城市三角町三角浦1160-179	施設管理所属	水産振興課
	敷地面積	港湾用地	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	322.9 ㎡	用途地域	
施設の目的		漁業秩序を維持することにより、水産資源の回復と漁業者の安全・安心な操業を図るため漁業違反の未然防止と漁業違反者の取締を行う		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1998	W	322.9	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1998	W	322.9	1	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	19	16	2
適合度②/①	0.40	0.68	0.70	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和40 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		16.4	0.6	38.9		19.4	0.1		10.4		2.3
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		17.9	2.0	40.3	1.4	20.8	1.5	1.4	11.8	1.4	3.7
累計		17.9	19.9	60.2	61.7	82.5	84.0	85.5	97.3	98.7	102.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

1. 施設概要

基本情報	施設番号	80	施設名称	建設技術センター
	所在地	熊本市南区城南町	施設管理所属	土木技術管理課
	敷地面積	12,305.56 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,839.8 ㎡	用途地域	
施設の目的		熊本県内の地方公共団体が施行する建設事業に関する技術水準の向上を図り、適正かつ効率的な事業執行を支援する		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	試験棟	1985	LS	911.0	
2	研修棟	1985	RC	928.8	

3. 建物毎の概要等

(1)試験棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	試験棟	1985	LS	911.0	1	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	15	17	14	2
適合度②/①	0.30	0.60	0.63	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和27 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用が可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		58.0		67.1		12.1	0.2		6.5	1.6	5.0
維持管理費		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
撤去費											
合計		62.1	4.0	71.2	4.0	16.1	4.2	4.0	10.6	5.6	9.0
累計		62.1	66.1	137.3	141.3	157.4	161.7	165.7	176.3	181.9	190.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）研修棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	研修棟	1985	RC	928.8	2	0	35

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	16	14	3
適合度②/①	0.30	0.64	0.59	0.50	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和57 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和5（2023）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

・令和3年度に多目的トイレと女子トイレ（洋式トイレ、手すり付き）増設工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						110.5					
更新・修繕費		40.8		35.7		61.3	0.1		0.0	1.2	67.0
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		44.9	4.1	39.8	4.1	176.0	4.2	4.1	4.2	5.3	71.2
累計		44.9	49.1	88.9	93.0	269.0	273.3	277.4	281.6	286.9	358.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	81	施設名称	亀川ダム管理所
	所在地	天草市枦宇土町	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	228.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用		

位置図

写真

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理所	1981	RC	228	

3. 建物毎の概要等

(1)管理所

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理所	1981	RC	228.0	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	16	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和23 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		6.3		24.0		1.4	0.1				3.1
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		7.3	1.0	25.0	1.0	2.4	1.1	1.0	1.0	1.0	4.1
累計		7.3	8.3	33.3	34.3	36.8	37.9	38.9	39.9	40.9	45.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	82	施設名称	石打ダム管理所
	所在地	宇城市三角町中村	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	726.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		①洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用 ②河川行政の広報、学習の場		

位置図

写真

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1991	RC	270.4	
2	資料館	1993	RC	455.7	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1991	RC	270.4	2	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	20	19	0
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ (令和33 年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転用費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長寿命化費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
更新・修繕費		13.9	0.0	25.6	0.0	27.2	0.1	0.0	3.4	0.0	3.1
維持管理費		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
撤去費											
合計		15.1	1.2	26.9	1.2	28.4	1.3	1.2	4.6	1.2	4.3
累計		15.1	16.3	43.2	44.4	72.7	74.0	75.2	79.8	81.0	85.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

（2）資料館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	資料館	1993	RC	455.7	2	0	28

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	18	13	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和35 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		18.8		103.2			0.1		5.4		
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		20.8	2.0	105.2	2.0	2.0	2.1	2.0	7.4	2.0	2.0
累計		20.8	22.8	128.0	130.1	132.1	134.2	136.2	143.6	145.7	147.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	83	施設名称	坪井川水系遊水地管理棟
	所在地	熊本市北区清水町	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	703.9 ㎡	用途地域	
施設の目的		県行政の施策実施のための施設		

位置図

写真

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1998	RC	703.9	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1998	RC	703.9	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	18	15	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.67	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 90 年 ※ （令和70 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度に課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		9.5	67.1	35.1		62.0		0.1	12.0		1.3
維持管理費		3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
撤去費											
合計		12.6	70.3	38.2	3.1	65.1	3.1	3.3	15.1	3.1	4.4
累計		12.6	82.9	121.1	124.2	189.3	192.5	195.7	210.8	213.9	218.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	84	施設名称	氷川ダム管理所
	所在地	八代市泉町下岳	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	713.8 ㎡	用途地域	
施設の目的		洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用		

位置図

写真

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	2001	RC	713.8	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	2001	RC	713.8	3	0	19

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	20	19	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.74	0.68	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和73 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		9.4	28.8	55.8		1.2	4.4		0.1		5.0
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		12.6	32.0	59.0	3.2	4.4	7.6	3.2	3.2	3.2	8.2
累計		12.6	44.5	103.5	106.7	111.1	118.7	121.9	125.1	128.3	136.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	85	施設名称	上津浦ダム管理棟
	所在地	天草市有明町上津浦	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	268.5 ㎡	用途地域	
施設の目的		洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用		

位置図

写真

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	2003	RC	268.5	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	2003	RC	268.5	2	0	17

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	20	20	0
適合度②/①	0.30	0.68	0.74	0.71	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和45 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		1.3		33.5		16.1	0.0		1.7		1.9
維持管理費		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
撤去費											
合計		2.5	1.2	34.7	1.2	17.3	1.2	1.2	2.8	1.2	3.1
累計		2.5	3.7	38.4	39.6	57.0	58.2	59.4	62.2	63.4	66.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	86	施設名称	市房ダム管理所
	所在地	球磨郡水上村岩野	施設管理所属	河川課
	敷地面積	国有地	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	238.9 ㎡	用途地域	
施設の目的		洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用		

位置図

写真

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	制御室	1959	RC	238.9	

3. 建物毎の概要等

(1)制御室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	制御室	1959	RC	238.9	2	0	61

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	19	20	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.70	0.71	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和31 年)

・長寿命化要件には該当せず目標使用年数に到達しているが、H30年～H31年に耐震補強工事を行っており、適切な保全を実施しながら目標使用年数90年まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		5.9		7.7		3.2	0.1		5.7		1.7
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		6.9	1.1	8.8	1.1	4.2	1.1	1.1	6.7	1.1	2.7
累計		6.9	8.0	16.8	17.9	22.1	23.2	24.3	31.0	32.1	34.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	87	施設名称	天草空港管理事務所
	所在地	天草市五和町城河原1丁目	施設管理所属	港湾課
	敷地面積	438,468.94 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	1,040.5 ㎡	用途地域	
施設の目的		天草空港の管理運営		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	空港ターミナルビル	1999	RC	1040.5	

3. 建物毎の概要等

（1）空港ターミナルビル

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	空港ターミナルビル	1999	RC	1,040.5	3	0	21

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	19	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.70	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和71 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度に課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		4.7	62.1	14.0	9.0	134.0				7.3	6.0
維持管理費		4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
撤去費											
合計		9.4	66.7	18.6	13.6	138.6	4.6	4.6	4.6	12.0	10.6
累計		9.4	76.1	94.7	108.3	246.9	251.5	256.1	260.8	272.7	283.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	88	施設名称	県立教育センター
	所在地	山鹿市小原	施設管理所属	教育政策課
	敷地面積	54,169.0 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	5,661.8 ㎡	用途地域	
施設の目的		熊本県における教育の充実及び振興を図るための施設		

位置図

（出典：国土地理院）

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館棟	1971	RC	2082.8	
2	技術家庭棟	1971	RC	780.4	
3	情報処理教育棟	1972	RC	942.5	
4	理科教育棟	1971	RC	903.5	
5	体育研修棟	1974	SRC	952.6	

3. 建物毎の概要等

（1）本館棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館棟	1971	RC	2,082.8	2	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	18	13	2
適合度②/①	0.30	0.64	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和13 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和9（2027）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		34.9	1.2	21.9	3.6	14.7	0.2		11.8	3.6	
維持管理費		9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3
撤去費											
合計		44.1	10.5	31.2	12.9	23.9	9.5	9.3	21.0	12.9	9.3
累計		44.1	54.6	85.8	98.7	122.6	132.1	141.3	162.4	175.3	184.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)技術家庭棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	技術家庭棟	1971	RC	780.4	1	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	2	15	16	13	1
適合度②/①	0.20	0.60	0.59	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和13 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和9(2027)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		23.7	0.5	7.4			4.4		0.1	2.1	5.5
維持管理費		3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
撤去費											
合計		27.2	3.9	10.8	3.5	3.5	7.9	3.5	3.5	5.6	9.0
累計		27.2	31.1	42.0	45.4	48.9	56.8	60.3	63.8	69.4	78.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)情報処理教育棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	情報処理教育棟	1972	RC	942.5	2	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	2	17	15	12	3
適合度②/①	0.20	0.68	0.56	0.43	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和44 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		79.6	0.6	6.5			5.3		6.7	2.6	
維持管理費		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
撤去費											
合計		83.8	4.8	10.7	4.2	4.2	9.5	4.2	10.9	6.8	4.2
累計		83.8	88.5	99.2	103.4	107.6	117.1	121.3	132.2	139.0	143.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)理科研修棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	理科教育棟	1971	RC	903.5	2	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	1	15	17	14	2
適合度②/①	0.10	0.60	0.63	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和13 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和9(2027)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		29.4		8.0			0.2		11.4	1.6	
維持管理費		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
撤去費											
合計		33.5	4.0	12.0	4.0	4.0	4.2	4.0	15.4	5.6	4.0
累計		33.5	37.5	49.5	53.5	57.5	61.7	65.7	81.1	86.7	90.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)体育研修棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	体育研修棟	1974	SRC	952.6	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	2	12	14	14	1
適合度②/①	0.20	0.48	0.52	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和46 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		113.4									
更新・修繕費		222.4		12.7			5.4		7.7	1.7	
維持管理費		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
撤去費											
合計		340.0	4.2	16.9	4.2	4.2	9.6	4.2	12.0	5.9	4.2
累計		340.0	344.2	361.1	365.4	369.6	379.2	383.5	395.4	401.3	405.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	89	施設名称	天草青年の家
	所在地	上天草市松島町	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	168,557.0 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	4,236.7 ㎡	用途地域	
施設の目的		健全な青少年の育成を図るとともに、県民の生涯学習の振興に資するために設置された社会教育施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1973	RC	1119.8	
2	講堂	1973	RC	230.6	
3	体育館	1973	RC	913.0	
4	宿舎A	1973	RC	648.0	
5	宿舎B	1973	RC	648.0	
6	食堂	1973	RC	440.0	
7	宿泊棟（和室）	1987	RC	237.3	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1973	RC	1,119.8	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	18	14	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.67	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 63 年 ※ （令和18 年）
	・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。 ・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。 ・R4 外壁改修 ・R6 内装工事 ・R8 電気改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		133.3									
更新・修繕費		66.1		210.3			0.3		14.0	2.0	12.9
維持管理費		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
撤去費											
合計		204.3	5.0	215.3	5.0	5.0	5.3	5.0	19.0	6.9	17.9
累計		204.3	209.3	424.5	429.5	434.5	439.8	444.7	463.7	470.7	488.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)講堂

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	講堂	1973	RC	230.6	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	13	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　63 年
※　(令和18 年)

・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
- ・R4　外壁改修
- ・R6　内装工事
- ・R9　電気改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		16.3					1.4		1.1	0.3	
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		17.3	1.0	1.0	1.0	1.0	2.5	1.0	2.2	1.3	1.0
累計		17.3	18.3	19.3	20.4	21.4	23.8	24.9	27.0	28.3	29.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	体育館	1973	RC	913.0	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	13	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　63 年
※　(令和18 年)

・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
- ・R6，7　内装・アリーナ床改修、電気・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		55.6		8.3			0.1		10.1	1.2	
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		59.7	4.1	12.4	4.1	4.1	4.2	4.1	14.2	5.2	4.1
累計		59.7	63.7	76.1	80.1	84.2	88.4	92.4	106.6	111.8	115.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)宿舎A

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	宿舎A	1973	RC	648.0	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	16	12	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.59	0.43	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　63 年
※　(令和18 年)

・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		58.0		2.2					8.8		2.2
維持管理費		2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
撤去費											
合計		60.8	2.9	5.1	2.9	2.9	2.9	2.9	11.7	2.9	5.1
累計		60.8	63.7	68.8	71.7	74.6	77.5	80.4	92.1	94.9	100.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)宿舎B

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	宿舎B	1973	RC	648.0	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	12	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.43	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　63 年
※　(令和18 年)

・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R4　外壁改修
　・R6，7　内装改修、電気設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		63.0		1.8			0.6		8.3		2.2
維持管理費		2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
撤去費											
合計		65.8	2.9	4.7	2.9	2.9	3.4	2.9	11.1	2.9	5.1
累計		65.8	68.7	73.4	76.3	79.2	82.6	85.5	96.6	99.5	104.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)食堂

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	食堂	1973	RC	440.0	1	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	18	13	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.67	0.46	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　63 年
※　(令和18 年)

・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R4　外壁改修
　・R6，7　空調改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		10.6	6.7	8.7					1.9		5.6
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		12.5	8.6	10.7	2.0	2.0	2.0	2.0	3.8	2.0	7.6
累計		12.5	21.1	31.8	33.8	35.7	37.7	39.6	43.5	45.4	53.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(7)宿泊棟(和室)

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
7	宿泊棟(和室)	1987	RC	237.3	1	0	34

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	19	13	1
適合度②/①	0.40	0.72	0.70	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　49 年
※　(令和18 年)

・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を49年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R9　内外装改修、電気・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転用費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長寿命化費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
更新・修繕費		11.8	3.0	7.2	0.0	0.2	0.0	0.4	0.8	3.0	2.9
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		12.8	4.1	8.3	1.1	1.3	1.1	1.4	1.9	4.1	4.0
累計		12.8	16.9	25.2	26.3	27.5	28.6	30.0	31.9	36.0	40.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	90	施設名称	菊池少年自然の家
	所在地	菊池市原	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	81,305.0 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,362.5 ㎡	用途地域	
施設の目的		青少年の「生きる力」を育むとともに、幼児から高齢者までが安心して活動できる環境づくりと生涯学習の振興を目的とした山型（山間活動）施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1975	LS	755.4	
2	宿泊棟A	1975	LS	319.1	
3	宿泊棟B	1975	LS	379.2	
4	雨天遊戯室	1975	LS	620.4	
5	研修室	1979	LS	288.5	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1975	LS	755.4	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	17	18	14	1
適合度②/①	0.30	0.68	0.67	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 65 年 ※ （令和22 年）
	・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を65年に設定し、計画的に改修工事を実施する。 ・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。 ・R7 空調・給排水改修 ・R10 屋根・内外部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		83.2	1.3	1.3	1.3		4.3		5.3	0.1	1.3
維持管理費		3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
撤去費											
合計		86.5	4.7	4.7	4.6	3.4	7.6	3.4	8.7	3.4	4.7
累計		86.5	91.2	95.9	100.5	103.9	111.5	114.8	123.5	127.0	131.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)宿泊棟A

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	宿泊棟A	1975	LS	319.1	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	20	16	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　65 年
※　(令和22 年)

・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を65年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R7　空調改修
　・R11　部分改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		2.1	1.1	2.2		0.0	0.0		0.9	0.1	0.1
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		3.5	2.5	3.6	1.4	1.5	1.4	1.4	2.3	1.5	1.5
累計		3.5	6.0	9.6	11.0	12.5	13.9	15.3	17.6	19.2	20.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)宿泊棟B

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	宿泊棟B	1975	LS	379.2	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	5	18	20	17	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　65 年
※　(令和22 年)

・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を65年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R7　空調改修
　・R11　部分改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		15.6		9.2		0.2	0.0		4.2	0.5	0.4
維持管理費		1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
撤去費											
合計		17.3	1.7	10.9	1.7	1.9	1.7	1.7	5.9	2.2	2.1
累計		17.3	19.0	29.9	31.6	33.4	35.2	36.8	42.7	44.9	47.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)雨天遊戯室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	雨天遊戯室	1975	LS	620.4	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	18	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　65 年
※　(令和22 年)

・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を65年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R10　屋根・内部大規模改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		47.6	0.3	1.0		2.5	10.0				0.1
維持管理費		2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
撤去費											
合計		50.4	3.0	3.7	2.8	5.3	12.7	2.8	2.8	2.8	2.9
累計		50.4	53.4	57.1	59.9	65.1	77.9	80.6	83.4	86.2	89.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)研修室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	研修室	1979	LS	288.5	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	18	14	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.67	0.50	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　61 年
※　(令和22 年)

・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を61年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R7　空調設備改修
　・R10　屋根・内部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		28.0	11.6	3.8		1.6	0.1		3.6	0.5	0.0
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		29.3	12.9	5.1	1.3	2.9	1.3	1.3	4.9	1.8	1.3
累計		29.3	42.2	47.2	48.5	51.4	52.8	54.1	58.9	60.7	62.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

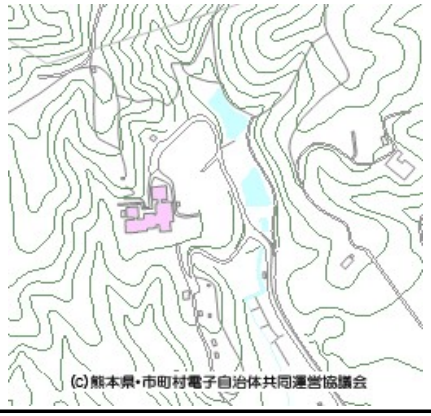
個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	91	施設名称	豊野少年自然の家
	所在地	宇城市豊野町	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	101,286.0 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,699.7 ㎡	用途地域	
施設の目的		自然の中での集団宿泊生活を通して、その情操や社会性を豊かにし、心身を鍛錬することにより、健全な少年の育成を図ることを目的とする施設		

位置図



写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1984	RC	947.7	
2	宿泊棟	1984	RC	1,352.5	
3	体育館	1984	RC	399.5	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1984	RC	947.7	2	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	18	15	1
適合度②/①	0.40	0.72	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和26 年）

・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R6　屋根・外壁改修
　・R9　内部改修・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					112.8						
更新・修繕費		61.2		136.9			0.2		0.1	1.7	53.4
維持管理費		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
撤去費											
合計		65.4	4.2	141.1	117.0	4.2	4.4	4.2	4.3	5.9	57.6
累計		65.4	69.6	210.7	327.7	331.9	336.3	340.5	344.8	350.7	408.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)宿泊棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	宿泊棟	1984	RC	1,352.5	2	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	19	15	1
適合度②/①	0.30	0.76	0.70	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和26 年)

・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R6　屋根・外壁改修
　・R9　内部改修・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					160.9						
更新・修繕費		74.5		127.9		89.3	0.2		15.0	1.7	
維持管理費		6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
撤去費											
合計		80.5	6.0	133.9	167.0	95.3	6.2	6.0	21.0	7.7	6.0
累計		80.5	86.5	220.4	387.4	482.7	488.9	494.9	515.9	523.6	529.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	体育館	1984	RC	399.5	1	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	20	21	16	0
適合度②/①	0.30	0.80	0.78	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和26 年)

・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(道路アクセス等に課題)

・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R6　外部改修
　・R9　内部改修・空調改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転用費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長寿命化費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
更新・修繕費		17.2	0.0	30.6	0.0	2.2	0.0	0.0	3.9	0.0	2.6
維持管理費		1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
撤去費											
合計		19.0	1.8	32.3	1.8	3.9	1.8	1.8	5.7	1.8	4.4
累計		19.0	20.7	53.1	54.8	58.8	60.5	62.3	68.0	69.8	74.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	92	施設名称	あしきた青少年の家
	所在地	葦北郡芦北町	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	125,646.59 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	8,348.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		県自然体験活動や社会体験活動を基に、青少年の健全な育成を支援する施設であると同時に、幼児から高齢の方までが、快適で安全に活動できる環境と生涯学習の場を寄与する行政の施策実施のための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1998	RC	2,902.5	
2	洋室宿泊棟	1998	RC	1,630.4	
3	和室宿泊棟	1998	RC	1,676.0	
4	食堂浴室棟	1998	RC	1,144.9	
5	体育館	1997	LS	994.3	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1998	RC	2,902.5	3	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	21	17	2
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.61	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和40 年）
	・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。 ・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。 ・R3，4 トイレ改修・屋根防水 ・R5 給排水設備改修 ・R10 内部改修 ・R13 外部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		120.2		455.0			0.3		21.4		20.5
維持管理費		12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9
撤去費											
合計		133.1	12.9	467.9	12.9	12.9	13.2	12.9	34.3	12.9	33.4
累計		133.1	146.0	613.9	626.8	639.7	652.9	665.8	700.1	713.0	746.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)洋室宿泊棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	洋室宿泊棟	1998	RC	1,630.4	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	23	16	1
適合度②/①	0.40	0.76	0.85	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和40 年)

・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R3，4 トイレ改修
　・R6　給排水設備改修
　・R14　内部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		79.2	24.7	102.4		91.5			65.5		
維持管理費		7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
撤去費											
合計		86.4	31.9	109.7	7.2	98.8	7.2	7.2	72.8	7.2	7.2
累計		86.4	118.3	228.0	235.3	334.0	341.3	348.5	421.3	428.6	435.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)和室宿泊棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	和室宿泊棟	1998	RC	1,676.0	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	23	18	1
適合度②/①	0.40	0.76	0.85	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和40 年)

・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R3，4 トイレ改修
　・R6　給排水設備改修
　・R13　内部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		81.4	25.3	105.3		94.1			67.4		
維持管理費		7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
撤去費											
合計		88.9	32.8	112.8	7.4	101.5	7.4	7.4	74.8	7.4	7.4
累計		88.9	121.6	234.4	241.9	343.4	350.8	358.3	433.1	440.5	448.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)食堂浴室棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	食堂浴室棟	1998	RC	1,144.9	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	24	19	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.89	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和40 年)

・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R3，4 トイレ改修
　・R6　屋根防水改修
　・R12　給排水設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			107.9	2.0		35.0		1.0	28.4	14.6	3.9
維持管理費		5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1
撤去費											
合計		5.1	113.0	7.0	5.1	40.1	5.1	6.1	33.5	19.7	9.0
累計		5.1	118.1	125.1	130.2	170.3	175.4	181.4	214.9	234.6	243.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	体育館	1997	LS	994.3	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	24	19	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.89	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和39 年)

・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R6　外壁改修
　・R12　防水改修・内部改修
　・R21　屋根改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		76.5	5.6	142.3				51.1	16.2		
維持管理費		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
撤去費											
合計		80.9	10.0	146.8	4.4	4.4	4.4	55.6	20.6	4.4	4.4
累計		80.9	90.9	237.6	242.0	246.5	250.9	306.4	327.0	331.5	335.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	93	施設名称	県立図書館
	所在地	熊本市中央区出水2丁目	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	水前寺江津湖公園内	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	9,460.0 ㎡	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的		県民に対し生活や仕事の課題解決、学びを深めること等に役立つ資料や情報を積極的に提供する。		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	図書館	1985	SRC	9,460.0	

3. 建物毎の概要等

（1）図書館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	図書館	1985	SRC	9,460.0	4	0	35

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	19	18	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和57 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することができる。

・令和5（2023）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						1,125.7					
更新・修繕費		120.6		820.1	100.8				152.7	8.0	
維持管理費		42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0
撤去費											
合計		162.6	42.0	862.2	142.9	1,167.8	42.0	42.0	194.7	50.1	42.0
累計		162.6	204.7	1,066.8	1,209.7	2,377.5	2,419.5	2,461.5	2,656.3	2,706.3	2,748.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	94	施設名称	県文化財資料室
	所在地	熊本市南区城南町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	26,116.19 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	2,505.2 ㎡	用途地域	
施設の目的		県内各地から出土した文化財を整理し、文化財や調査資料を大切に保管するための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1983	RC	682.7	
2	展示体験学習棟	2011	LS	317.1	
3	出土遺物整理室	2015	S	236.8	
4	作業棟	1983	RC	497.3	
5	整理棟	1983	RC	771.3	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1983	RC	682.7	2	0	37

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	19	17	1
適合度②/①	0.50	0.64	0.70	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90 年 ※ （令和55 年） ・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				81.2							
更新・修繕費		22.4		45.3		38.3			3.6		8.7
維持管理費		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
撤去費											
合計		25.5	3.0	129.6	3.0	41.4	3.0	3.0	6.6	3.0	11.7
累計		25.5	28.5	158.1	161.1	202.4	205.5	208.5	215.1	218.1	229.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)展示体験学習棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	展示体験学習棟	2011	LS	317.1	1	0	9

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	18	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和53 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		3.4		7.8		4.0	2.3		0.3		
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		4.8	1.4	9.2	1.4	5.5	3.7	1.4	1.7	1.4	1.4
累計		4.8	6.2	15.4	16.8	22.2	25.9	27.4	29.0	30.4	31.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)出土遺物整理室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	出土遺物整理室	2015	S	236.8	2	0	6

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	19	19	2
適合度②/①	0.30	0.64	0.70	0.68	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和57 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			0.8	8.9		2.0				0.8	1.6
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		1.1	1.9	10.0	1.1	3.0	1.1	1.1	1.1	1.9	2.6
累計		1.1	2.9	12.9	14.0	17.0	18.0	19.1	20.1	22.0	24.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)作業棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	作業棟	1983	RC	497.3	1	0	38

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	20	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和25 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.3			2.1				6.3	6.1	
維持管理費		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
撤去費											
合計		40.5	2.2	2.2	4.3	2.2	2.2	2.2	8.5	8.3	2.2
累計		40.5	42.8	45.0	49.3	51.5	53.7	55.9	64.5	72.7	75.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)整理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	整理棟	1983	RC	771.3	2	0	37

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	18	14	1
適合度②/①	0.40	0.68	0.67	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和55 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(職員満足度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				91.8							
更新・修繕費		109.1		1.3		39.3	0.1		6.9	1.1	4.4
維持管理費		3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
撤去費											
合計		112.5	3.4	96.5	3.4	42.7	3.5	3.4	10.3	4.5	7.8
累計		112.5	115.9	212.5	215.9	258.6	262.1	265.6	275.9	280.4	288.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	95	施設名称	装飾古墳館
	所在地	山鹿市鹿央町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	71,226.72 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,099.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		装飾古墳の保護・活用、そして研究のための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1991	SRC	2,099.0	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1991	SRC	2,099.0	1	1	29

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	21	15	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.78	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和63 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することとし、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和11（2029）年度を目安として長寿命化改修の（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・保全計画に基づき、令和3年度に外壁・屋根・空調設備の改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		126.5		99.5		64.1			28.5	5.5	7.1
維持管理費		9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3
撤去費											
合計		135.8	9.3	108.8	9.3	73.5	9.3	9.3	37.9	14.8	16.4
累計		135.8	145.2	254.0	263.3	336.8	346.1	355.4	393.3	408.1	424.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

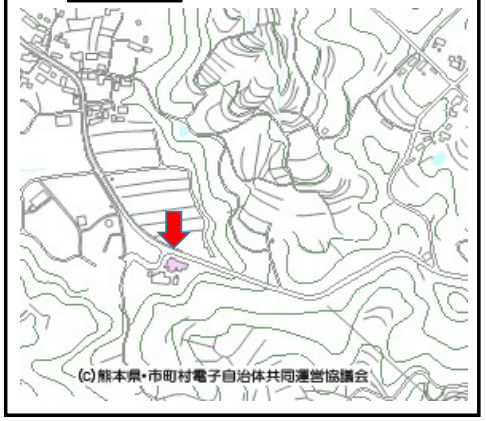
個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	96	施設名称	温故創生館
	所在地	山鹿市菊鹿町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	448,961.34 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	818.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		鞠智城が築かれた時代やその役割、城の構造について、展示と映像で学べる施設		

位置図



写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	2002	W	818.1	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	2002	W	818.1	2	0	19

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	20	16	1
適合度②/①	0.30	0.76	0.74	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和44 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			87.5	27.8			1.1	4.6	0.2	5.0	
維持管理費		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
撤去費											
合計		3.6	91.1	31.5	3.6	3.6	4.8	8.3	3.8	8.7	3.6
累計		3.6	94.7	126.2	129.8	133.5	138.2	146.5	150.3	159.0	162.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	97	施設名称	県立美術館分館
	所在地	熊本市中央区千葉城町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	4,071.43 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	5,084.6 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		古代から現代美術までを網羅する総合美術館である県立美術館の分館であり、美術品等の展示のための貸会場		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	美術館分館	1958	RC	5,084.6	

3. 建物毎の概要等

（1）美術館分館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	美術館分館	1958	RC	5,084.6	4	1	62

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	19	17	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.70	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和30 年）

・当面の間、適切な保全を実施しながら継続利用する。

・令和3（2021）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		3,050.8									
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			38.9	38.4			1.0		60.0		
維持管理費		22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6
撤去費											
合計		3,073.4	61.5	60.9	22.6	22.6	23.6	22.6	82.6	22.6	22.6
累計		3,073.4	3,134.9	3,195.8	3,218.4	3,241.0	3,264.5	3,287.1	3,369.7	3,392.3	3,414.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	98	施設名称	県立美術館
	所在地	熊本市中央区二の丸	施設管理所属	文化課
	敷地面積	0.0 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	7,942.9 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		古代から現代美術までを網羅する総合美術館		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	展示館及び事務室	1975	RC	7596.1	
2	永青文庫常設展示室	1977	RC	346.8	

3. 建物毎の概要等

（1）展示館及び事務室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	展示館及び事務室	1975	RC	7,596.1	3	1	45

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	20	17	3
適合度②/①	0.30	0.64	0.74	0.61	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和47 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することとし、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・保全計画に基づき、令和3年度に以下の改修工事を行う。
- ・展示室改修（第1展示室床張替、遮光壁新設工事）
- ・事務棟トイレ改修、執務室照明LED化
- ・外部シャッター更新工事
- ・収蔵庫扉開閉調整
- ・装飾古墳室壁・天井塗装改修、照明LED化
- ・外壁・床タイル改修
- ・荷物用エレベーター改修（シャッター設置、天井改修工事）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		903.9									
更新・修繕費		160.7		108.2		755.4	7.5	24.6	6.5		25.8
維持管理費		33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7
撤去費											
合計		1,098.4	33.7	142.0	33.7	789.1	41.2	58.4	40.2	33.7	59.5
累計		1,098.4	1,132.1	1,274.1	1,307.9	2,097.0	2,138.2	2,196.6	2,236.8	2,270.5	2,330.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)永青文庫常設展示室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	永青文庫常設展示室	1977	RC	346.8	1	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	23	17	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.85	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和19 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用が可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		4.1		34.5		0.6			1.5		4.8
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		5.6	1.5	36.0	1.5	2.1	1.5	1.5	3.0	1.5	6.3
累計		5.6	7.1	43.1	44.7	46.8	48.3	49.9	52.9	54.4	60.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	99	施設名称	県立総合体育館
	所在地	熊本市西区上熊本1丁目	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	32,940.79 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	15,314.8 ㎡	用途地域	準工業地域
施設の目的		熊本県のスポーツの中核施設とて、レクリエーションから国際スポーツイベントを行う施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	体育館	1982	RC	15314.8	

3. 建物毎の概要等

(1)体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	体育館	1982	RC	15,314.8	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	19	15	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.70	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和54 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる。

・プール棟、機械室の外壁改修及び全館放送設備改修に係る設計
　設計時期：令和3年6月以降

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用			1,822.5								
更新・修繕費		1,177.6		3,031.0		34.9			249.4		
維持管理費		68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0
撤去費											
合計		1,245.7	1,890.5	3,099.0	68.0	102.9	68.0	68.0	317.5	68.0	68.0
累計		1,245.7	3,136.2	6,235.2	6,303.2	6,406.1	6,474.2	6,542.2	6,859.7	6,927.7	6,995.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	100	施設名称	藤崎台県営野球場
	所在地	熊本市中央区宮内	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	62,276.0 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	2,795.2 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		高校野球をはじめアマチュア野球からプロ野球まで行うことができる施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所	1960	RC	2795.2	

3. 建物毎の概要等

（1）事務所

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所	1960	RC	2,795.2	3	0	60

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	11	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.39	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和2 年）

・当面の間、適切な維持保全を実施しながら継続利用することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度、職員満足度や道路アクセスに課題）

・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる。

※シミュレーションは継続利用。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		237.4	50.2	435.1			33.7	0.5	37.0	5.1	
維持管理費		12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4
撤去費											
合計		249.8	62.7	447.5	12.4	12.4	46.1	12.9	49.4	17.5	12.4
累計		249.8	312.5	760.0	772.4	784.8	830.9	843.9	893.3	910.8	923.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

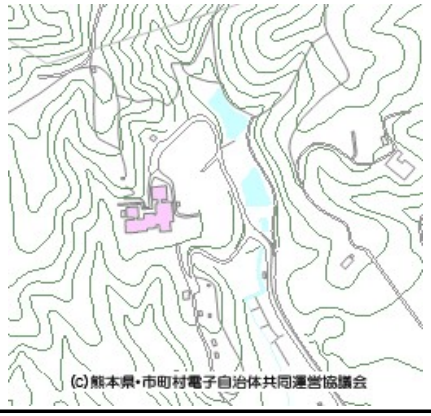
個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	91	施設名称	豊野少年自然の家
	所在地	宇城市豊野町	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	101,286.0 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,699.7 ㎡	用途地域	
施設の目的		自然の中での集団宿泊生活を通して、その情操や社会性を豊かにし、心身を鍛錬することにより、健全な少年の育成を図ることを目的とする施設		

位置図



写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1984	RC	947.7	
2	宿泊棟	1984	RC	1,352.5	
3	体育館	1984	RC	399.5	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1984	RC	947.7	2	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	18	15	1
適合度②/①	0.40	0.72	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和26 年）

・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R6　屋根・外壁改修
　・R9　内部改修・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					112.8						
更新・修繕費		61.2		136.9			0.2		0.1	1.7	53.4
維持管理費		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
撤去費											
合計		65.4	4.2	141.1	117.0	4.2	4.4	4.2	4.3	5.9	57.6
累計		65.4	69.6	210.7	327.7	331.9	336.3	340.5	344.8	350.7	408.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)宿泊棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	宿泊棟	1984	RC	1,352.5	2	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	19	15	1
適合度②/①	0.30	0.76	0.70	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和26 年)

・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R6　屋根・外壁改修
　・R9　内部改修・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					160.9						
更新・修繕費		74.5		127.9		89.3	0.2		15.0	1.7	
維持管理費		6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
撤去費											
合計		80.5	6.0	133.9	167.0	95.3	6.2	6.0	21.0	7.7	6.0
累計		80.5	86.5	220.4	387.4	482.7	488.9	494.9	515.9	523.6	529.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	体育館	1984	RC	399.5	1	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	20	21	16	0
適合度②/①	0.30	0.80	0.78	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和26 年)

・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(道路アクセス等に課題)

・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R6　外部改修
　・R9　内部改修・空調改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転用費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長寿命化費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
更新・修繕費		17.2	0.0	30.6	0.0	2.2	0.0	0.0	3.9	0.0	2.6
維持管理費		1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
撤去費											
合計		19.0	1.8	32.3	1.8	3.9	1.8	1.8	5.7	1.8	4.4
累計		19.0	20.7	53.1	54.8	58.8	60.5	62.3	68.0	69.8	74.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	92	施設名称	あしきた青少年の家
	所在地	葦北郡芦北町	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	125,646.59 ㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	8,348.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		県自然体験活動や社会体験活動を基に、青少年の健全な育成を支援する施設であると同時に、幼児から高齢の方までが、快適で安全に活動できる環境と生涯学習の場を寄与する行政の施策実施のための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1998	RC	2,902.5	
2	洋室宿泊棟	1998	RC	1,630.4	
3	和室宿泊棟	1998	RC	1,676.0	
4	食堂浴室棟	1998	RC	1,144.9	
5	体育館	1997	LS	994.3	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1998	RC	2,902.5	3	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	18	21	17	2
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.61	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和40 年）
	・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。 ・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。 ・R3，4 トイレ改修・屋根防水 ・R5 給排水設備改修 ・R10 内部改修 ・R13 外部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		120.2		455.0			0.3		21.4		20.5
維持管理費		12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9
撤去費											
合計		133.1	12.9	467.9	12.9	12.9	13.2	12.9	34.3	12.9	33.4
累計		133.1	146.0	613.9	626.8	639.7	652.9	665.8	700.1	713.0	746.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)洋室宿泊棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	洋室宿泊棟	1998	RC	1,630.4	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	23	16	1
適合度②/①	0.40	0.76	0.85	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和40 年)

・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R3，4 トイレ改修
　・R6　給排水設備改修
　・R14　内部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		79.2	24.7	102.4		91.5			65.5		
維持管理費		7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
撤去費											
合計		86.4	31.9	109.7	7.2	98.8	7.2	7.2	72.8	7.2	7.2
累計		86.4	118.3	228.0	235.3	334.0	341.3	348.5	421.3	428.6	435.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)和室宿泊棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	和室宿泊棟	1998	RC	1,676.0	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	23	18	1
適合度②/①	0.40	0.76	0.85	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和40 年)

・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R3，4 トイレ改修
　・R6　給排水設備改修
　・R13　内部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		81.4	25.3	105.3		94.1			67.4		
維持管理費		7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
撤去費											
合計		88.9	32.8	112.8	7.4	101.5	7.4	7.4	74.8	7.4	7.4
累計		88.9	121.6	234.4	241.9	343.4	350.8	358.3	433.1	440.5	448.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)食堂浴室棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	食堂浴室棟	1998	RC	1,144.9	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	24	19	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.89	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和40 年)

・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R3，4 トイレ改修
　・R6　屋根防水改修
　・R12　給排水設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			107.9	2.0		35.0		1.0	28.4	14.6	3.9
維持管理費		5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1
撤去費											
合計		5.1	113.0	7.0	5.1	40.1	5.1	6.1	33.5	19.7	9.0
累計		5.1	118.1	125.1	130.2	170.3	175.4	181.4	214.9	234.6	243.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	体育館	1997	LS	994.3	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	24	19	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.89	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和39 年)

・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
　・R6　外壁改修
　・R12　防水改修・内部改修
　・R21　屋根改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		76.5	5.6	142.3				51.1	16.2		
維持管理費		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
撤去費											
合計		80.9	10.0	146.8	4.4	4.4	4.4	55.6	20.6	4.4	4.4
累計		80.9	90.9	237.6	242.0	246.5	250.9	306.4	327.0	331.5	335.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	93	施設名称	県立図書館
	所在地	熊本市中央区出水2丁目	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	水前寺江津湖公園内	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	9,460.0 ㎡	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的		県民に対し生活や仕事の課題解決、学びを深めること等に役立つ資料や情報を積極的に提供する。		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	図書館	1985	SRC	9,460.0	

3. 建物毎の概要等

（1）図書館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	図書館	1985	SRC	9,460.0	4	0	35

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	19	18	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和57 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することができる。

・令和5（2023）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						1,125.7					
更新・修繕費		120.6		820.1	100.8				152.7	8.0	
維持管理費		42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0
撤去費											
合計		162.6	42.0	862.2	142.9	1,167.8	42.0	42.0	194.7	50.1	42.0
累計		162.6	204.7	1,066.8	1,209.7	2,377.5	2,419.5	2,461.5	2,656.3	2,706.3	2,748.4

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	94	施設名称	県文化財資料室
	所在地	熊本市南区城南町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	26,116.19 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	2,505.2 ㎡	用途地域	
施設の目的		県内各地から出土した文化財を整理し、文化財や調査資料を大切に保管するための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1983	RC	682.7	
2	展示体験学習棟	2011	LS	317.1	
3	出土遺物整理室	2015	S	236.8	
4	作業棟	1983	RC	497.3	
5	整理棟	1983	RC	771.3	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1983	RC	682.7	2	0	37

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	5	16	19	17	1
適合度②/①	0.50	0.64	0.70	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90 年 ※ （令和55 年） ・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				81.2							
更新・修繕費		22.4		45.3		38.3			3.6		8.7
維持管理費		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
撤去費											
合計		25.5	3.0	129.6	3.0	41.4	3.0	3.0	6.6	3.0	11.7
累計		25.5	28.5	158.1	161.1	202.4	205.5	208.5	215.1	218.1	229.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)展示体験学習棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	展示体験学習棟	2011	LS	317.1	1	0	9

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	18	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和53 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		3.4		7.8		4.0	2.3		0.3		
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		4.8	1.4	9.2	1.4	5.5	3.7	1.4	1.7	1.4	1.4
累計		4.8	6.2	15.4	16.8	22.2	25.9	27.4	29.0	30.4	31.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)出土遺物整理室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	出土遺物整理室	2015	S	236.8	2	0	6

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	19	19	2
適合度②/①	0.30	0.64	0.70	0.68	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和57 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			0.8	8.9		2.0				0.8	1.6
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		1.1	1.9	10.0	1.1	3.0	1.1	1.1	1.1	1.9	2.6
累計		1.1	2.9	12.9	14.0	17.0	18.0	19.1	20.1	22.0	24.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)作業棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	作業棟	1983	RC	497.3	1	0	38

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	3	18	20	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　(令和25 年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.3			2.1				6.3	6.1	
維持管理費		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
撤去費											
合計		40.5	2.2	2.2	4.3	2.2	2.2	2.2	8.5	8.3	2.2
累計		40.5	42.8	45.0	49.3	51.5	53.7	55.9	64.5	72.7	75.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)整理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	整理棟	1983	RC	771.3	2	0	37

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用(60年)【27】	継続利用(90年)【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	18	14	1
適合度②/①	0.40	0.68	0.67	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　(令和55 年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(職員満足度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				91.8							
更新・修繕費		109.1		1.3		39.3	0.1		6.9	1.1	4.4
維持管理費		3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
撤去費											
合計		112.5	3.4	96.5	3.4	42.7	3.5	3.4	10.3	4.5	7.8
累計		112.5	115.9	212.5	215.9	258.6	262.1	265.6	275.9	280.4	288.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	95	施設名称	装飾古墳館
	所在地	山鹿市鹿央町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	71,226.72 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,099.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		装飾古墳の保護・活用、そして研究のための施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1991	SRC	2,099.0	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1991	SRC	2,099.0	1	1	29

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	21	15	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.78	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　90 年 ※　（令和63 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することとし、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和11（2029）年度を目安として長寿命化改修の（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・保全計画に基づき、令和3年度に外壁・屋根・空調設備の改修工事を行う。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		126.5		99.5		64.1			28.5	5.5	7.1
維持管理費		9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3
撤去費											
合計		135.8	9.3	108.8	9.3	73.5	9.3	9.3	37.9	14.8	16.4
累計		135.8	145.2	254.0	263.3	336.8	346.1	355.4	393.3	408.1	424.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

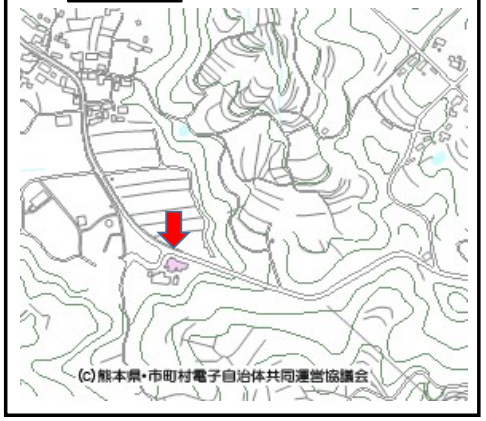
個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	96	施設名称	温故創生館
	所在地	山鹿市菊鹿町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	448,961.34 ㎡	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	818.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		鞠智城が築かれた時代やその役割、城の構造について、展示と映像で学べる施設		

位置図



写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	2002	W	818.1	

3. 建物毎の概要等

（1）本館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	2002	W	818.1	2	0	19

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	19	20	16	1
適合度②/①	0.30	0.76	0.74	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和44 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度や道路アクセスに課題）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			87.5	27.8			1.1	4.6	0.2	5.0	
維持管理費		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
撤去費											
合計		3.6	91.1	31.5	3.6	3.6	4.8	8.3	3.8	8.7	3.6
累計		3.6	94.7	126.2	129.8	133.5	138.2	146.5	150.3	159.0	162.6

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	97	施設名称	県立美術館分館
	所在地	熊本市中央区千葉城町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	4,071.43 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	5,084.6 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		古代から現代美術までを網羅する総合美術館である県立美術館の分館であり、美術品等の展示のための貸会場		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	美術館分館	1958	RC	5,084.6	

3. 建物毎の概要等

（1）美術館分館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	美術館分館	1958	RC	5,084.6	4	1	62

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	15	19	17	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.70	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和30 年）

・当面の間、適切な保全を実施しながら継続利用する。

・令和3（2021）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		3,050.8									
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			38.9	38.4			1.0		60.0		
維持管理費		22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6
撤去費											
合計		3,073.4	61.5	60.9	22.6	22.6	23.6	22.6	82.6	22.6	22.6
累計		3,073.4	3,134.9	3,195.8	3,218.4	3,241.0	3,264.5	3,287.1	3,369.7	3,392.3	3,414.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	98	施設名称	県立美術館
	所在地	熊本市中央区二の丸	施設管理所属	文化課
	敷地面積	0.0 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	7,942.9 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		古代から現代美術までを網羅する総合美術館		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	展示館及び事務室	1975	RC	7596.1	
2	永青文庫常設展示室	1977	RC	346.8	

3. 建物毎の概要等

（1）展示館及び事務室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	展示館及び事務室	1975	RC	7,596.1	3	1	45

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	20	17	3
適合度②/①	0.30	0.64	0.74	0.61	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和47 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することとし、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・保全計画に基づき、令和3年度に以下の改修工事を行う。
- ・展示室改修（第1展示室床張替、遮光壁新設工事）
- ・事務棟トイレ改修、執務室照明LED化
- ・外部シャッター更新工事
- ・収蔵庫扉開閉調整
- ・装飾古墳室壁・天井塗装改修、照明LED化
- ・外壁・床タイル改修
- ・荷物用エレベーター改修（シャッター設置、天井改修工事）

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		903.9									
更新・修繕費		160.7		108.2		755.4	7.5	24.6	6.5		25.8
維持管理費		33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7
撤去費											
合計		1,098.4	33.7	142.0	33.7	789.1	41.2	58.4	40.2	33.7	59.5
累計		1,098.4	1,132.1	1,274.1	1,307.9	2,097.0	2,138.2	2,196.6	2,236.8	2,270.5	2,330.1

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)永青文庫常設展示室

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	永青文庫常設展示室	1977	RC	346.8	1	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	23	17	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.85	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数　60 年 ※　（令和19 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用が可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		4.1		34.5		0.6			1.5		4.8
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		5.6	1.5	36.0	1.5	2.1	1.5	1.5	3.0	1.5	6.3
累計		5.6	7.1	43.1	44.7	46.8	48.3	49.9	52.9	54.4	60.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	99	施設名称	県立総合体育館
	所在地	熊本市西区上熊本1丁目	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	32,940.79 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	15,314.8 ㎡	用途地域	準工業地域
施設の目的		熊本県のスポーツの中核施設とて、レクリエーションから国際スポーツイベントを行う施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	体育館	1982	RC	15314.8	

3. 建物毎の概要等

(1)体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	体育館	1982	RC	15,314.8	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	19	19	15	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.70	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　90 年
※　（令和54 年）

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる。

・プール棟、機械室の外壁改修及び全館放送設備改修に係る設計
　設計時期：令和3年6月以降

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用			1,822.5								
更新・修繕費		1,177.6		3,031.0		34.9			249.4		
維持管理費		68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0
撤去費											
合計		1,245.7	1,890.5	3,099.0	68.0	102.9	68.0	68.0	317.5	68.0	68.0
累計		1,245.7	3,136.2	6,235.2	6,303.2	6,406.1	6,474.2	6,542.2	6,859.7	6,927.7	6,995.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	100	施設名称	藤崎台県営野球場
	所在地	熊本市中央区宮内	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	62,276.0 ㎡	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	2,795.2 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		高校野球をはじめアマチュア野球からプロ野球まで行うことができる施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所	1960	RC	2795.2	

3. 建物毎の概要等

（1）事務所

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所	1960	RC	2,795.2	3	0	60

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	16	17	11	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.39	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和2 年）

・当面の間、適切な維持保全を実施しながら継続利用することが可能である。

・令和3（2021）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度、職員満足度や道路アクセスに課題）

・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる。

※シミュレーションは継続利用。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		237.4	50.2	435.1			33.7	0.5	37.0	5.1	
維持管理費		12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4
撤去費											
合計		249.8	62.7	447.5	12.4	12.4	46.1	12.9	49.4	17.5	12.4
累計		249.8	312.5	760.0	772.4	784.8	830.9	843.9	893.3	910.8	923.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	101	施設名称	熊本武道館
	所在地	熊本市中央区水前寺5丁目	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	借地	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	3,143.0 ㎡	用途地域	第二種住居地域
施設の目的		一般武道愛好者の利用を基に、本県の武道普及と技術向上を図る施設		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	武道館	1971	RC	3143.0	

3. 建物毎の概要等

（1）武道館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	武道館	1971	RC	3,143.0	4	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	7	15	21	15	2
適合度②/①	0.70	0.60	0.78	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 60 年 ※ （令和13 年）
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和9（2027）年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。 ・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		17.1		104.9				1.4	21.0		30.2
維持管理費		14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
撤去費											
合計		31.1	14.0	118.9	14.0	14.0	14.0	15.3	35.0	14.0	44.1
累計		31.1	45.0	163.9	177.9	191.9	205.8	221.2	256.2	270.1	314.3

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

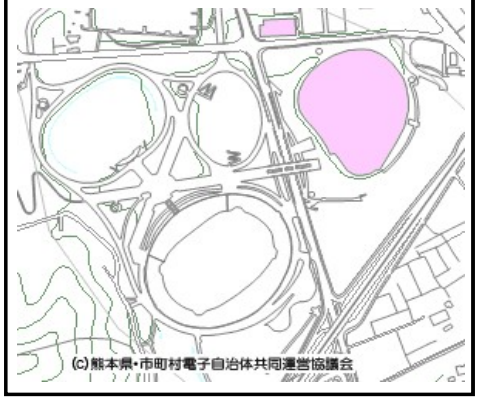
個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	102	施設名称	熊本県民総合運動公園
	所在地	熊本市東区石原	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	県民総合運動公園敷地内（都計所管）	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,080.1 ㎡	用途地域	
施設の目的		総合的なスポーツ・レクリエーション施設を有する都市公園		

位置図



写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	体育館	1982	RC	1080.1	

3. 建物毎の概要等

（1）体育館

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	体育館	1982	RC	1,080.1	1	0	38

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	3	16	18	15	1
適合度②/①	0.30	0.64	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	
	目標使用年数 90 年 ※ （令和54 年）
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3（2021）年度を目安として長寿命化改修（築後40年目を基準）の検討に着手する必要がある。 ・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用			128.5								
更新・修繕費		13.6	71.3			89.0					59.2
維持管理費		4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
撤去費											
合計		18.4	204.7	4.8	4.8	93.8	4.8	4.8	4.8	4.8	64.0
累計		18.4	223.0	227.8	232.6	326.4	331.2	336.0	340.8	345.6	409.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	103	施設名称	県総合射撃場
	所在地	上益城郡益城町	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	213,302.8 ㎡	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	359.0 ㎡	用途地域	
施設の目的		「くまもと未来国体」の射撃競技会場として整備された、クレー射撃、ライフル射撃の機能を持つ総合射撃場		

位置図

写真

（出典：国土地理院）

2. 建物別一覧

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1998	W	359	

3. 建物毎の概要等

（1）管理棟

①概要

面積：㎡

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1998	W	359.0	1	0	22

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分【評価項目数①】	建替【10】	転用【25】	継続利用（60年）【27】	継続利用（90年）【28】	廃止【7】
適合数②	4	17	20	17	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500㎡以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数　60 年
※　（令和40 年）

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用			128.5								
更新・修繕費		13.6	71.3			89.0					59.2
維持管理費		4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
撤去費											
合計		18.4	204.7	4.8	4.8	93.8	4.8	4.8	4.8	4.8	64.0
累計		18.4	223.0	227.8	232.6	326.4	331.2	336.0	340.8	345.6	409.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。